

## 基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄							備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
新設学部等の概要	医療科学部	年	人	年次人	人	学士 (放射線技術学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	年月 第 年次	京都府南丹市園部町小山東町今北1-3
	放射線技術学科	4	90 (80)		360 (320)				
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計	一科目	一科目	一科目	
新設分	医療科学部	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
既設分	該当なし	10人 (10)	3人 (3)	6人 (6)	3人 (3)	22人 (22)	一人 (-)	31人 (31)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 11人
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
新設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	— (-)	31 (31)	
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
新設分	小計 (a ~ b)	10 (10)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	— (-)	31 (31)	
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
新設分	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	計 (a ~ d)	10 (10)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	— (-)	31 (31)	
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	計	10 (10)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	— (-)	31 (31)	
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	該当なし	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	小計 (a ~ b)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	計 (a ~ d)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
既設分	計	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)			
合計		10 (10)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	22 (22)	— (-)		31 (31)

職種			専属		その他		計		大学全体			
事務職員			15人 (15)		4人 (4)		19人 (19)					
技術職員			— (—)		— (—)		— (—)					
図書館職員			1 (1)		1人 (1)		2人 (2)					
その他の職員			— (—)		2人 (2)		2人 (2)					
指導補助者			— (—)		— (—)		— (—)					
計			16人 (16)		7 (7)		23人 (23)					
校地等	区分		専用		共用		共用する他の学校等の専用					
	校舎敷地		5,748m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		5,748m <sup>2</sup>			
	その他		14,892m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		14,892m <sup>2</sup>			
合計			20,640m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		20,640m <sup>2</sup>			
校舎			専用		共用		共用する他の学校等の専用		計			
			9,200.16m <sup>2</sup> (9,200.16m <sup>2</sup> )		— m <sup>2</sup> (— m <sup>2</sup> )		— m <sup>2</sup> (— m <sup>2</sup> )		9,200.16m <sup>2</sup> (9,200.16m <sup>2</sup> )			
教室・教員研究室			教室		32室		教員研究室		23室			
図書・設備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		機械・器具 点			
	大学全体		20,493〔2,353〕 (20,493〔2,353〕)		460〔149〕 (460〔149〕)		66〔25〕 (66〔25〕)		50 (50)			
	計		20,490〔2,353〕 (20,490〔2,353〕)		460〔149〕 (460〔149〕)		66〔25〕 (66〔25〕)		50 (50)			
	スポーツ施設等		スポーツ施設 — m <sup>2</sup>		講堂 407m <sup>2</sup>		厚生補導施設 772m <sup>2</sup>		大学全体			
経費の見積り及び維持方法の概要	区分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体		
	教員1人当たり研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	400千円	—千円	—千円			
	共同研究費等		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	—千円	—千円			
	図書購入費		—	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	—千円	—千円			
	設備購入費		—	54,000千円	54,000千円	54,000千円	54,000千円	—千円	—千円			
	学生1人当たり 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
			1,820千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等									
既設大学等の状況	大学等の名称		京都医療科学大学									
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員率	開設年度			
医療科学部 放射線技術学科			年	人	年次人	人	学士 (放射線技術学)	倍	所在地			
			4	80	—	320	1.18 《1.14》	平成19年度	京都府南丹市園部町 小山東町今北1-3			
附属施設の概要			該当なし									

教育課程等の概要															
科目区分		授業科目の名称		配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態		基幹教員等の配置				備考
必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員				
基礎分野	科学的思考の基盤	基礎数学	1前			1	○						1		
		数学	1後	1			○			1					
		物理学	1前	1			○			1					
		化学	1後	1			○				1				
		コンピュータ学	1前	1			○				1				
		コンピュータ演習	1前			1		○			1				
		情報処理学	1後	1			○				1				
基礎分野	人間と生活	人文科学	文章表現の方法	1前	1		○				1				
		コミュニケーション論	1前	1			○				1				
		現代社会と倫理	1後		1		○					1			
		心理学入門	1後		1		○				1				
		日本文学を読む	1後		1		○				1				
		科社会学会	社会と医療	1前		1	○			3	1				
		健康な生活と医療の法	1前		1		○					4			
		時事問題から学ぶ日本経済	1前		1		○					1			
		外国语	英語	1前	1		○				1				
		医療英語	1後	1			○				1				
		医療英語コミュニケーション	2前	1			○					1			
		英語コミュニケーション I	1前		1		○					1			
		英語コミュニケーション II	1後		1		○					1			
		中国語入門	1前		1		○					1			
		中国語コミュニケーション	1後		1		○					1			
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	初年次に学ぶ大学でのスタディ・スキルズ	1前	1			○				1	1			
		小計(23科目)	—	—	11	10	2	—	5	3	9	0	0	13	
		生命・医療倫理学	1後		1		○					1			
		解剖学 I	1前	2			○				1				
		解剖学 II	1後	2			○				1				
		解剖学特論	3前			1	○			1		1			
		細胞生物学	1後	2			○					1			
		生理学	1後	2			○				1				
		臨床医学概論 I	2前	2			○				1				
		臨床医学概論 II	2後	2			○				1				
		臨床医学概論 III	3前	1			○				1	2			
		臨床心理学	1後	2			○				1				
		救急医学	3後	1			○					1			
		看護学概論	3後	1			○					1			
専門基礎分野	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	プログラミング概論	1後	2			○				1				
		プログラミング演習	2後		1			○		1	1				
		応用数学	2前	2			○			1	1				
		医用工学 I	1後	2			○				1				
		医用工学 II	2前	2			○				1				
		放射線物理学 I	1後	2			○				1				
		放射線物理学 II	2前	2			○				1				
		放射線生物学	2前	2			○					1			
		放射化学	2前	2			○				1				
		放射線計測学 I	2前	2			○				1				
		放射線計測学 II	2後	2			○				1				
		専門基礎科目実験	2後	1				○		1	1				
		小計(24科目)	—	—	39	1	1	—	14	2	3	3	0	8	
専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	診療放射線技術学概論	1前	1			○			2	2	2	3		
		診療画像機器学 I	2前	2			○				1				
		診療画像機器学 II	2後	2			○					1			
		診療画像機器学 III	3前	2			○					1			
		エックス線撮影技術学	2前	2			○				1				
		診療画像検査学 I	3前	2			○				1				
		診療画像検査学 II	3前	2			○				1				
		診療画像検査学 III	3後	2			○				1				
		画像機器工学特論	4前		1		○					3			
		臨床画像 I	2後	2			○				1				
		臨床画像 II	3前	2			○				1				
		画像診断技術学	3後	1			○				1				
		診療画像解剖学演習	4前		1			○			3				
		先端放射線技術学特論	4通			1	○				1				
専門分野	核医学検査技術学	専門科目実験 I	3前	1				○		1	2				
		専門科目実験 II	3前	1				○		1	1		1		
		専門科目実験 III	3後	1				○			1	2			
		専門科目実験 IV	3後	1				○		1	1	1			
		臨床核医学概論	3前	2			○				1				
		核医学検査技術学 I	3前	2			○					1			
		核医学検査技術学 II	3後	2			○					1			
		放射線腫瘍学概論	3前	2			○				1				
		放射線治療技術学 I	3前	2			○					1			
		放射線治療技術学 II	3後	2			○					1			
		放射線治療技術学 III	3後	1			○					1			
		医療情報学 I	2前	2			○			</td					

## 学校法人島津学園 設置認可等に関わる組織の移行表

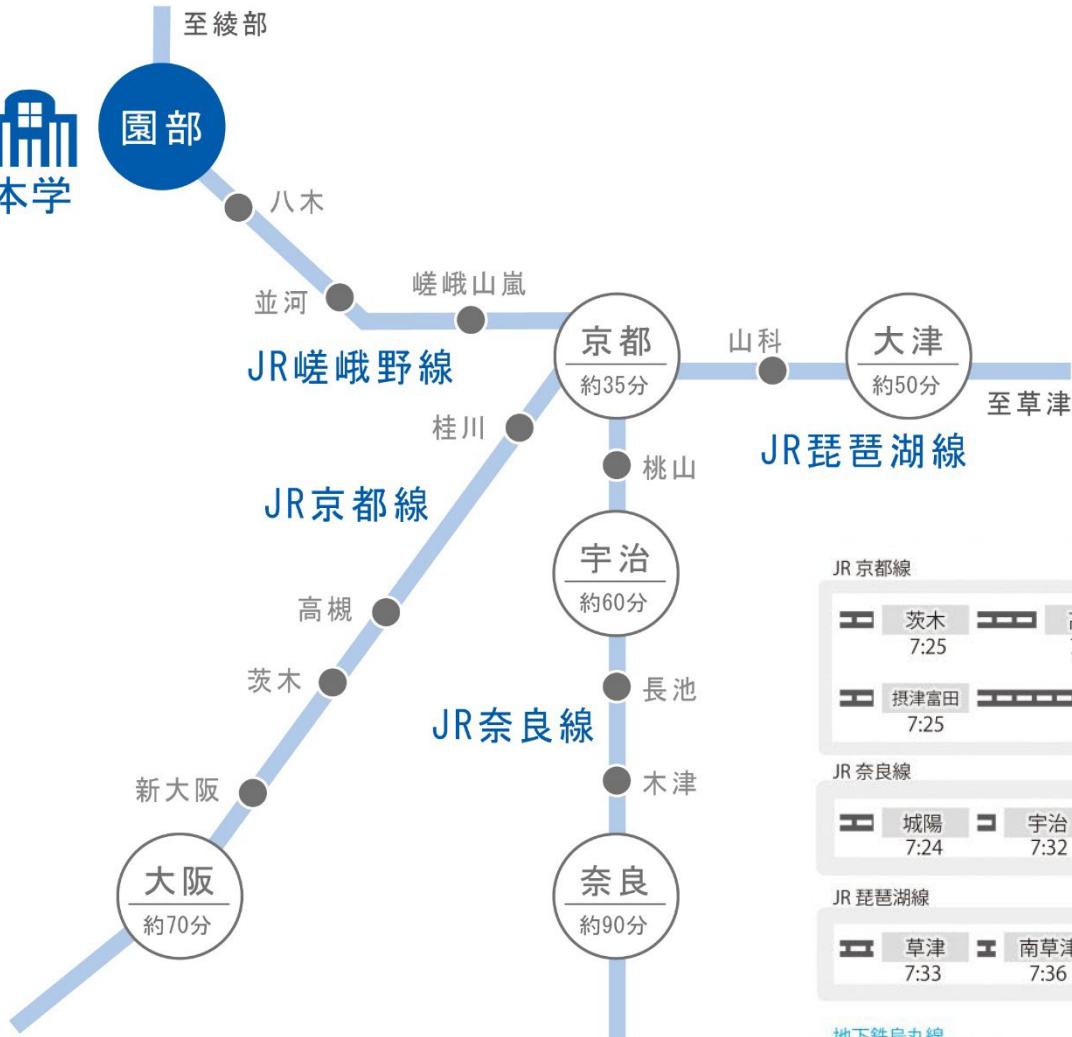
令和 6 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和 7 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都医療科学大学				京都医療科学大学				
医療科学部				医療科学部				
放射線技術学科	80	—	320	放射線技術学科	<u>90</u>	—	<u>360</u>	定員変更 (10)
計	80	—	320	計	<u>90</u>	—	<u>360</u>	

## 都道府県内における位置関係



## 京都医療科学大学の位置関係

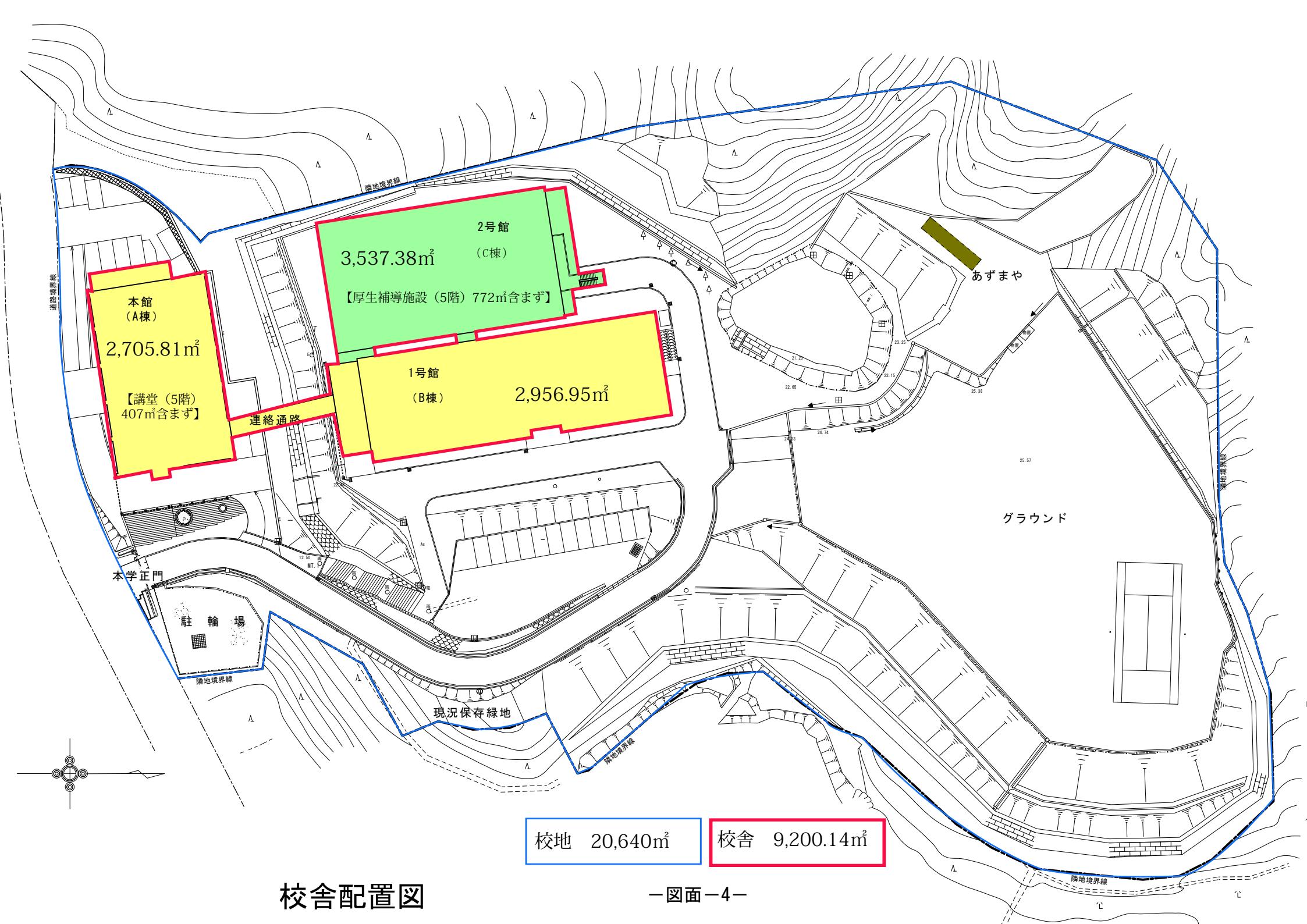




京都駅から約 35 分(快速)

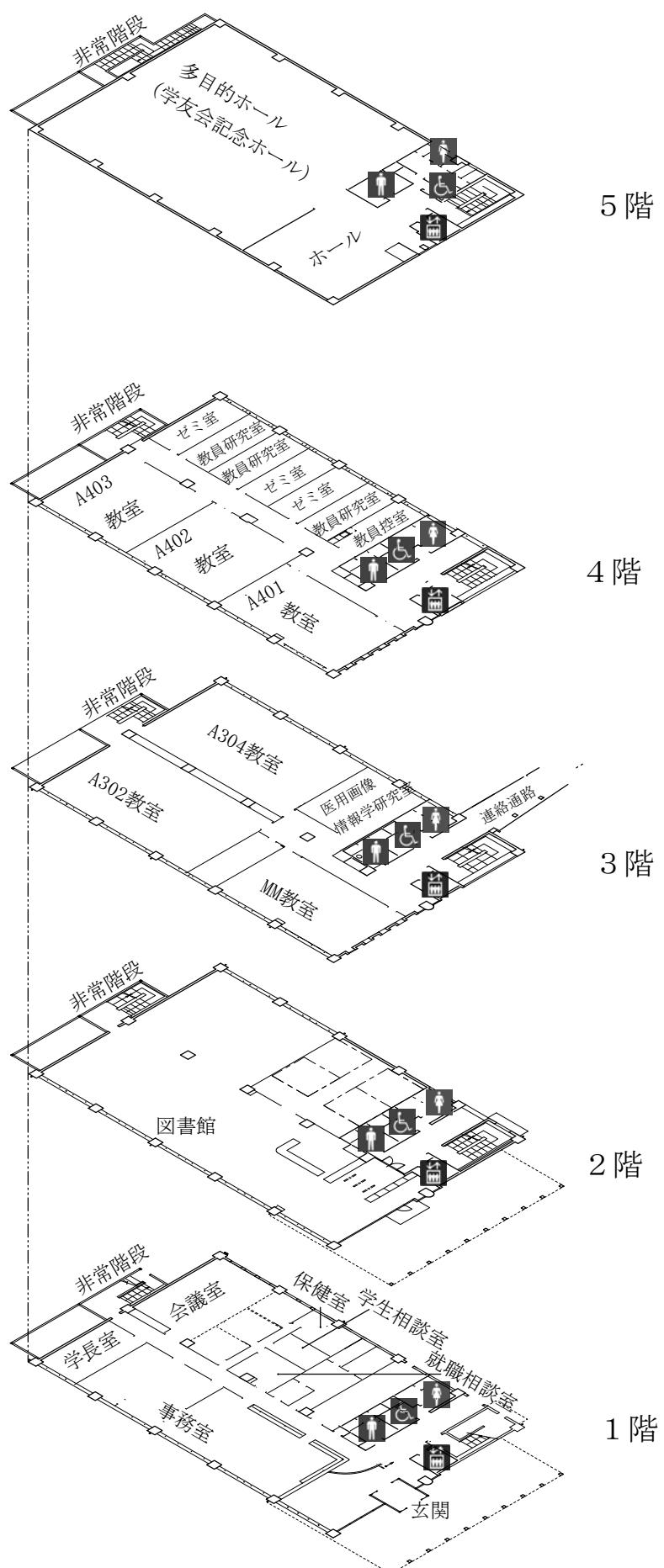
園部駅から徒歩 4 分

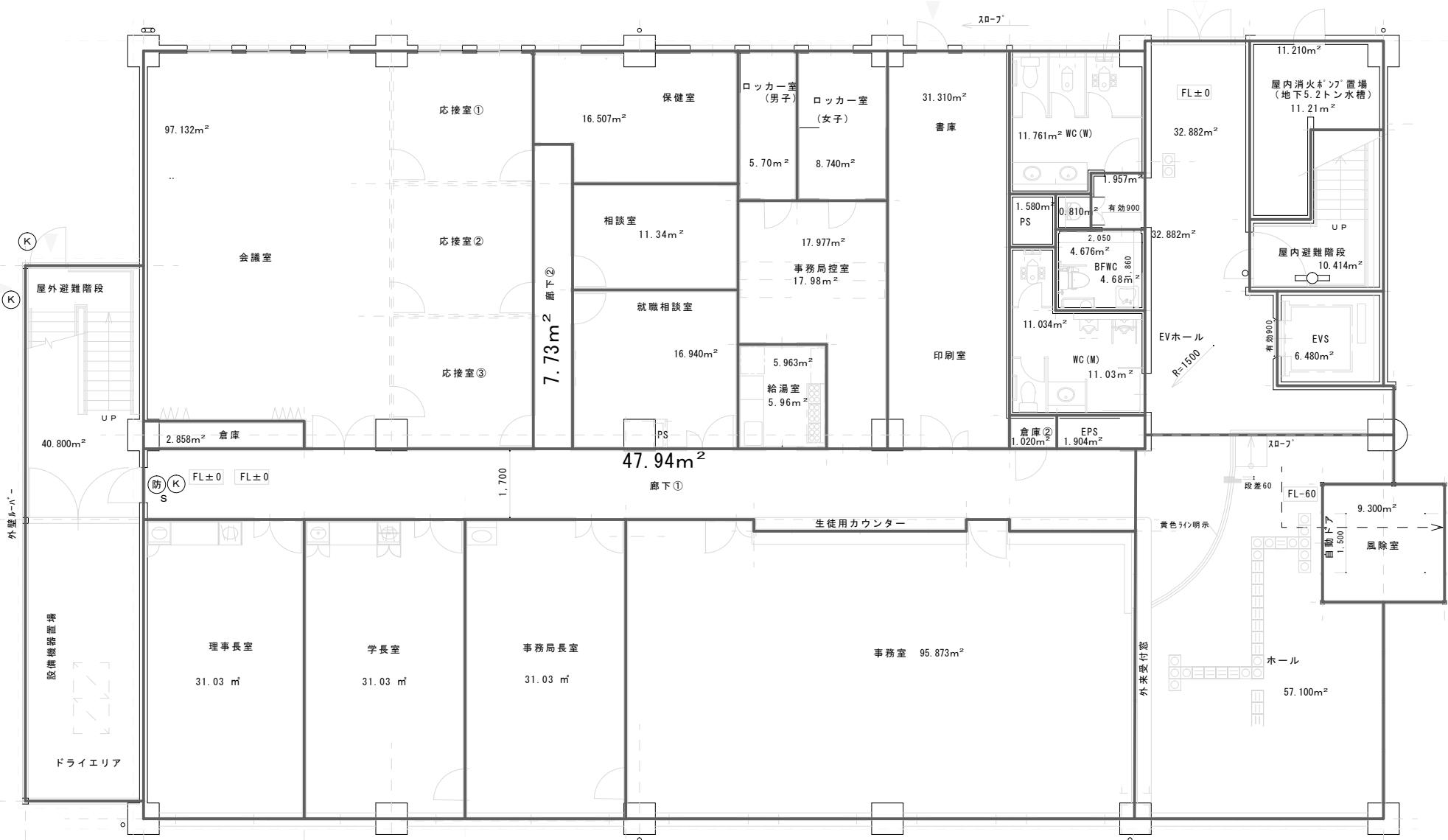


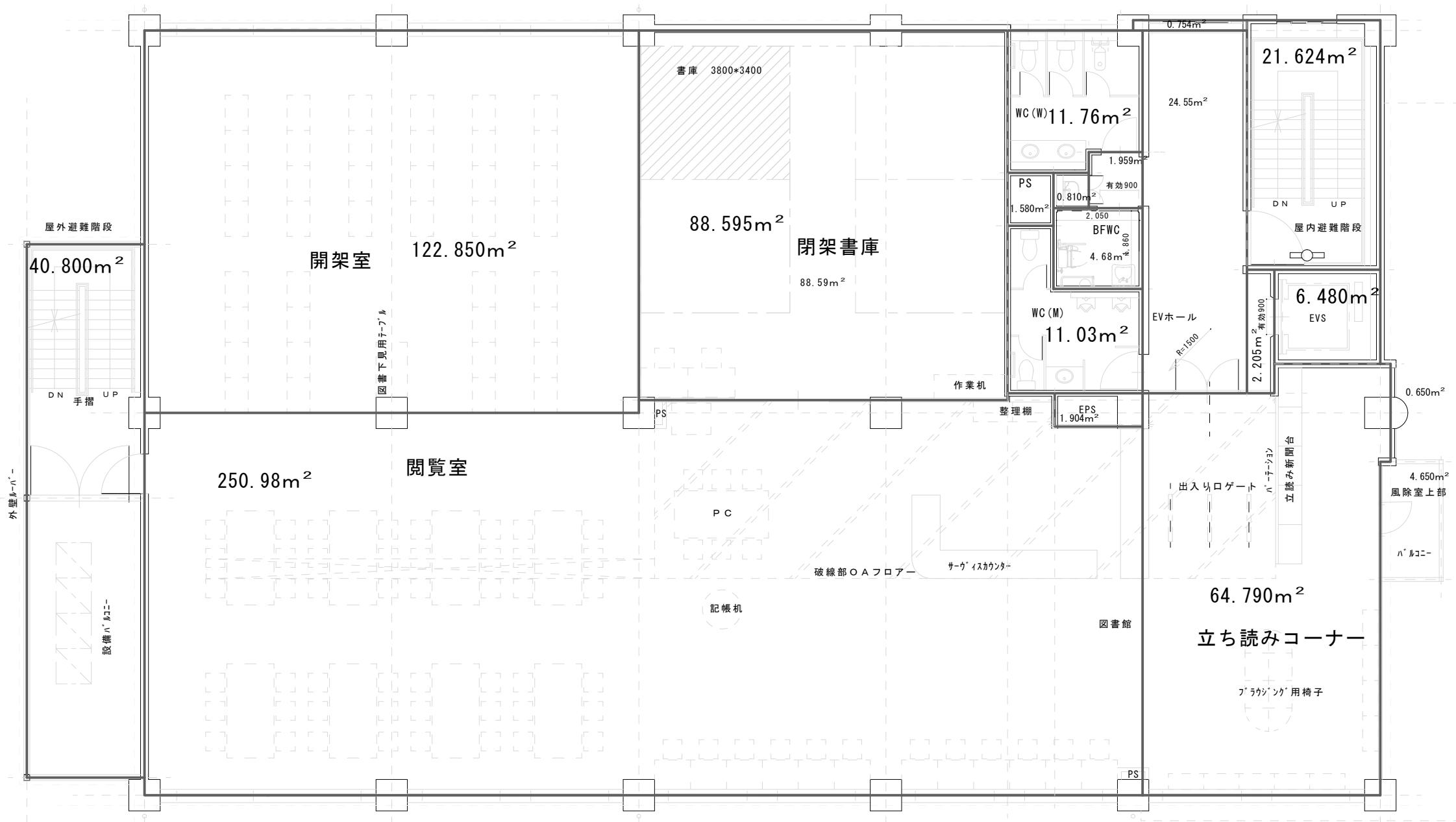


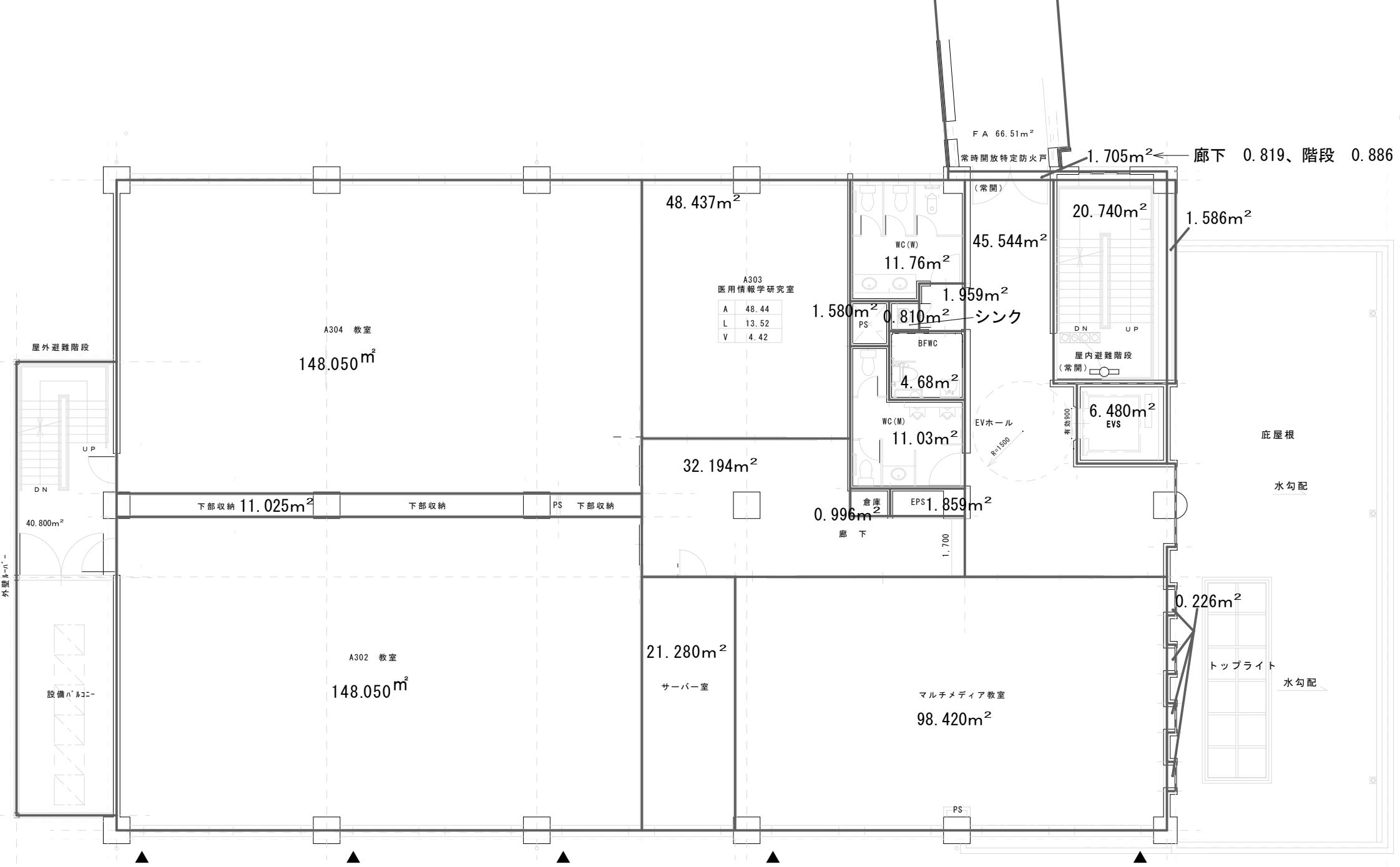
## 校舎配置図

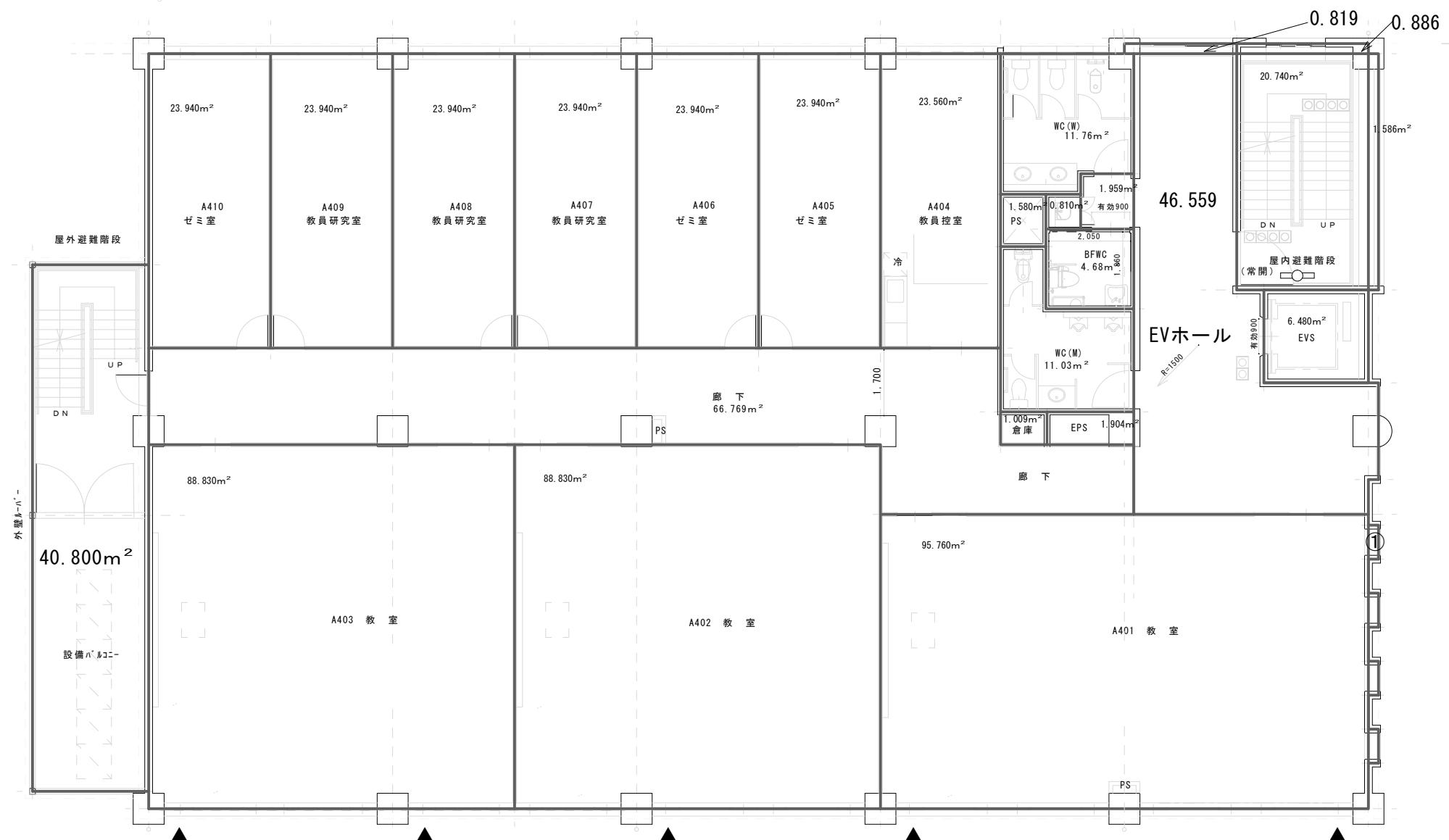
## 本館 (A棟)

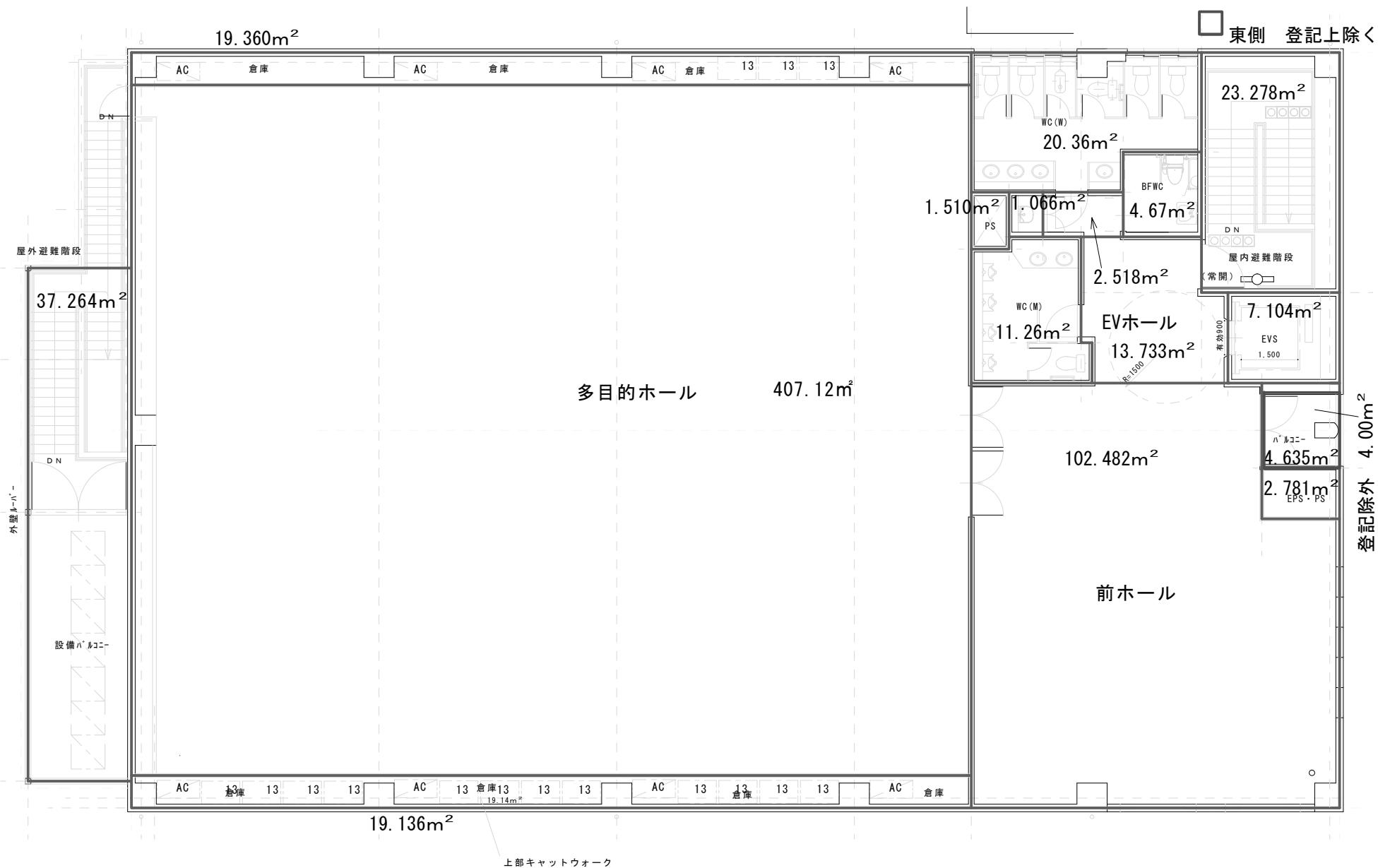




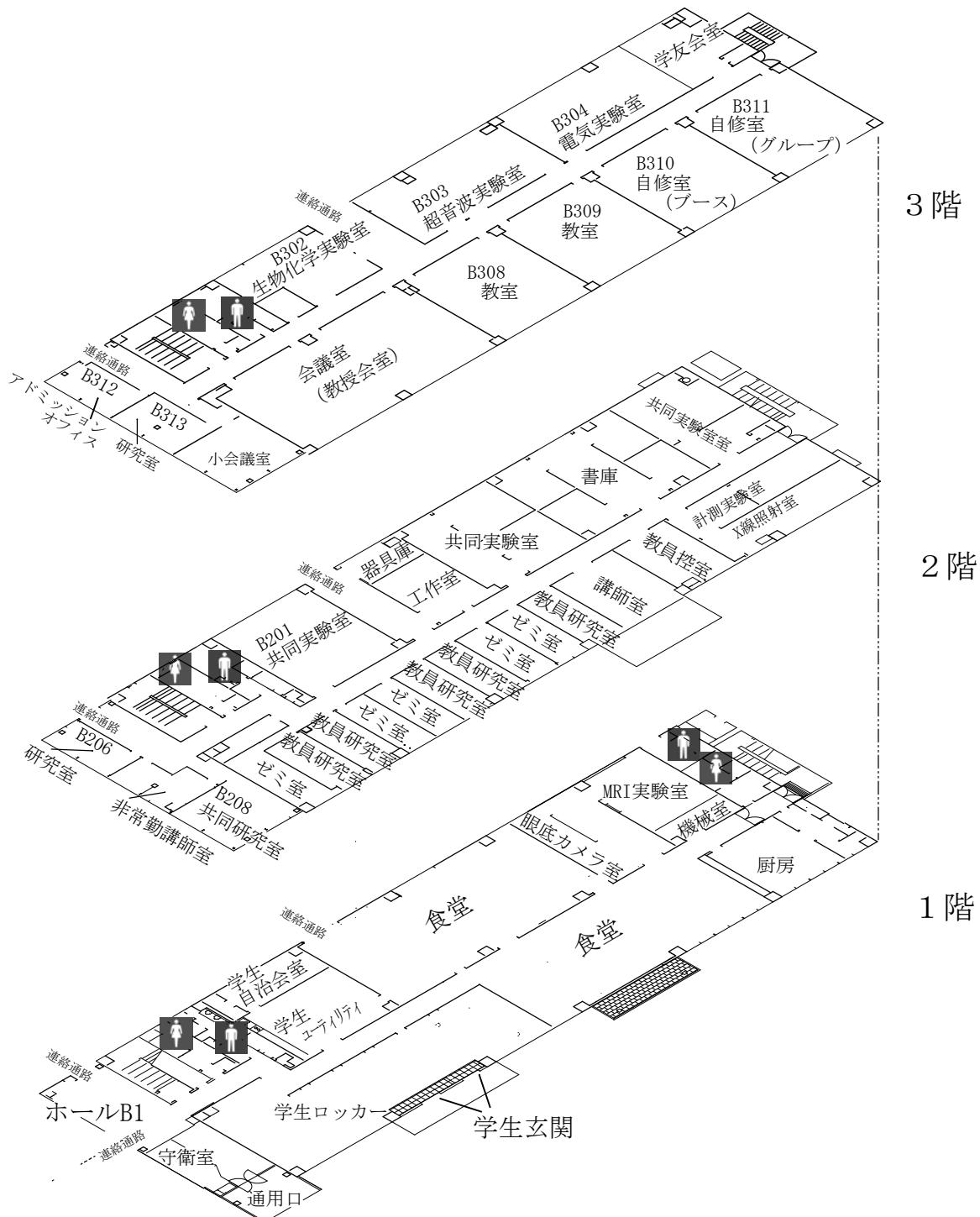


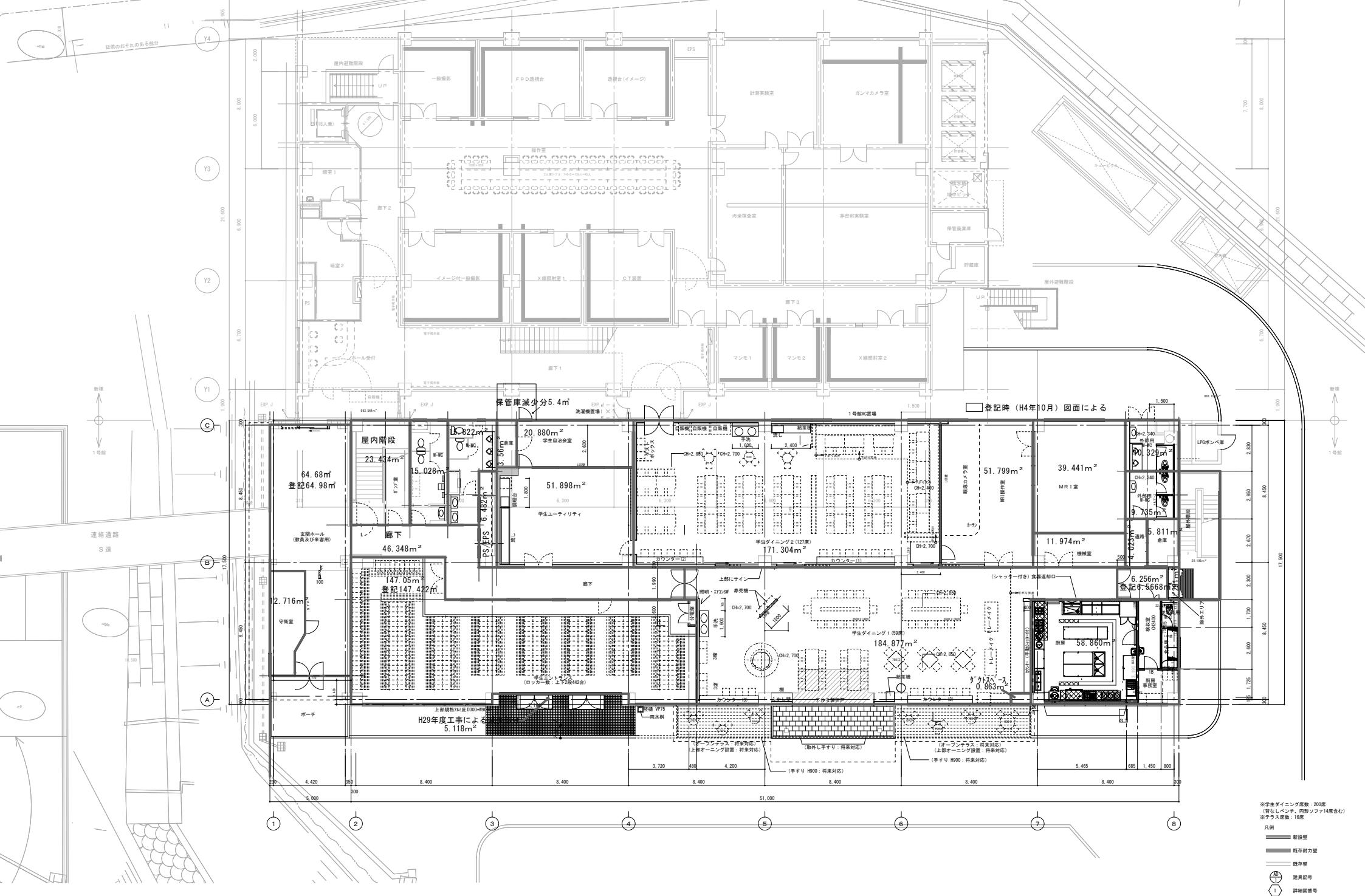




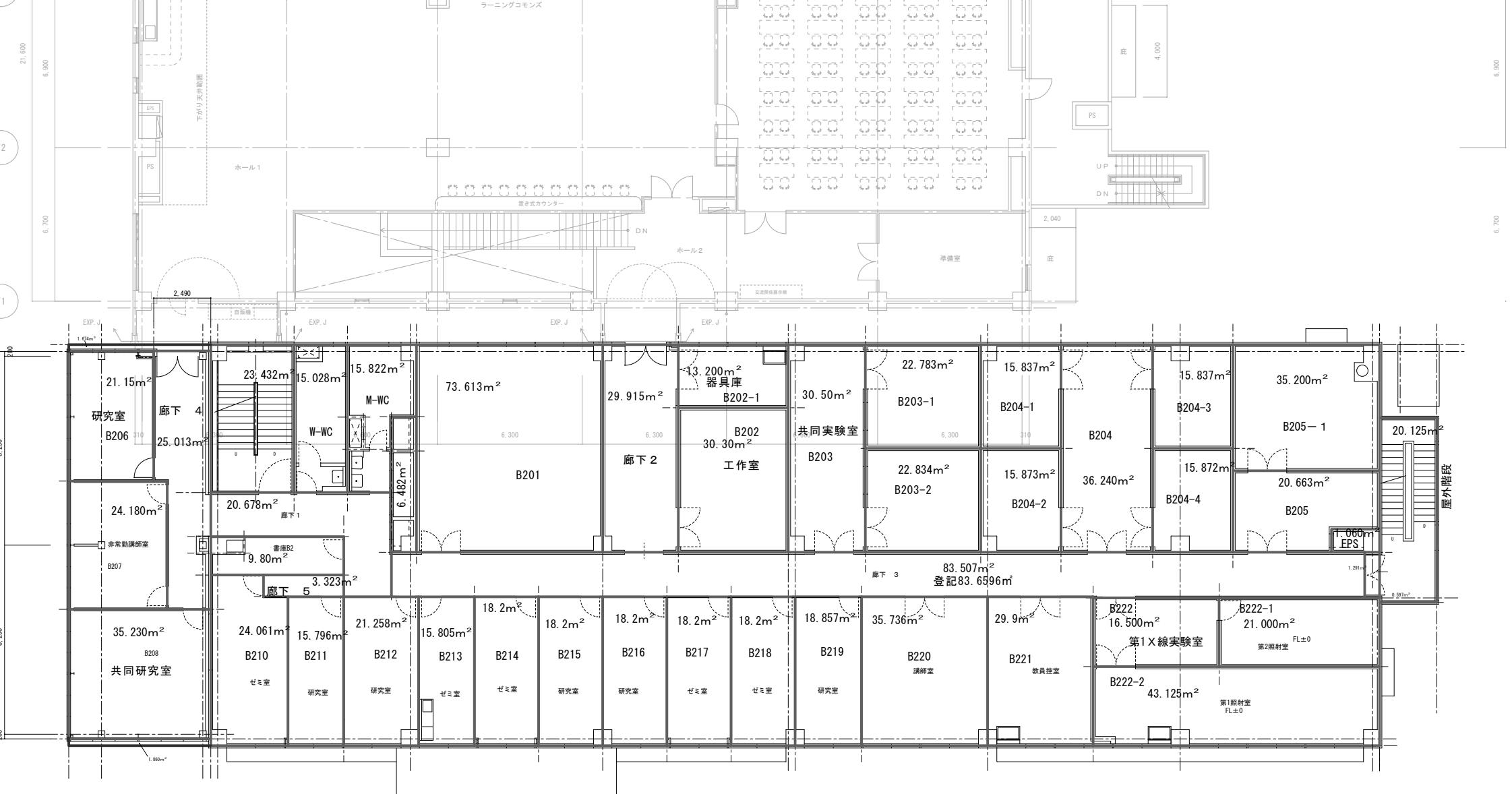


## 1号館 (B棟)





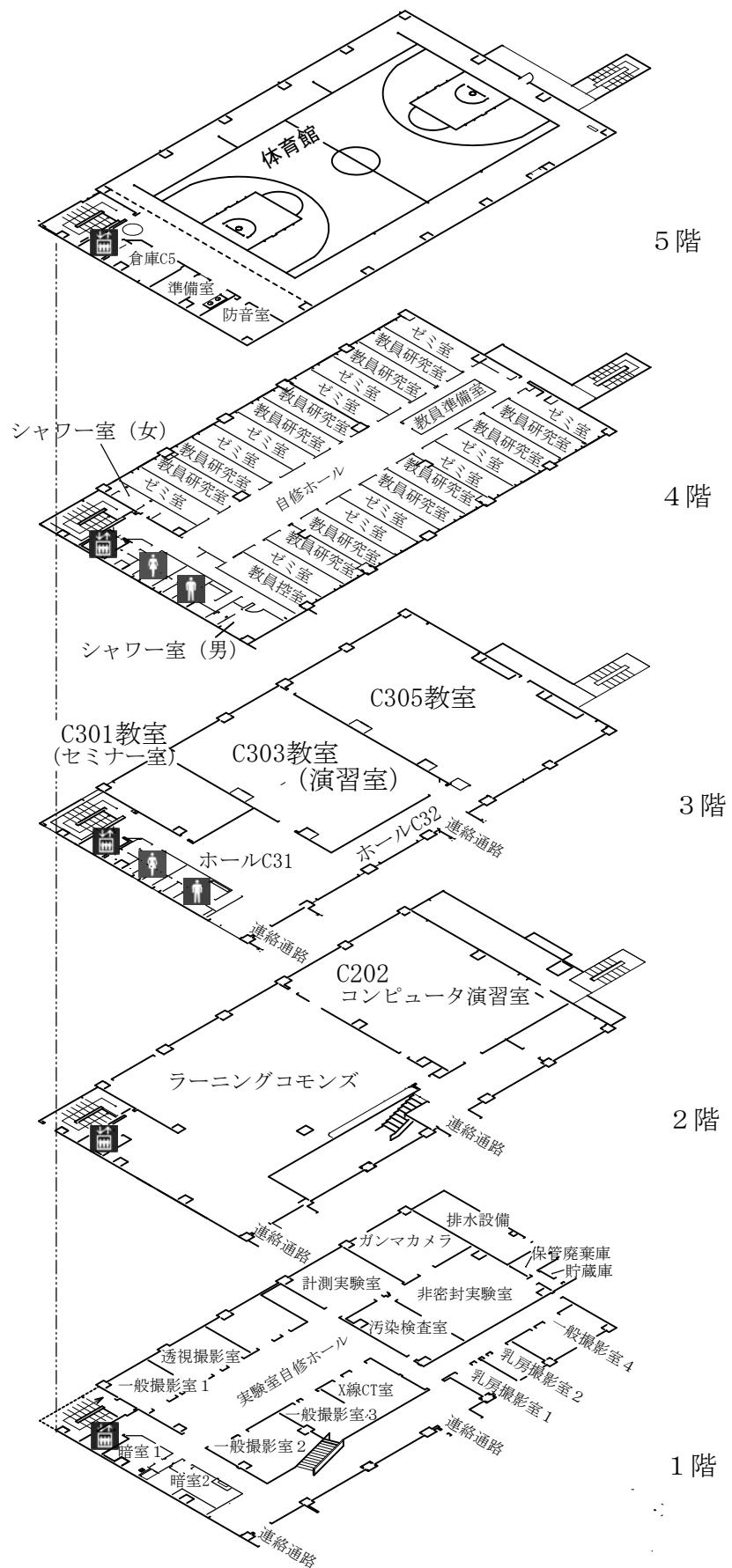
—図面—12—

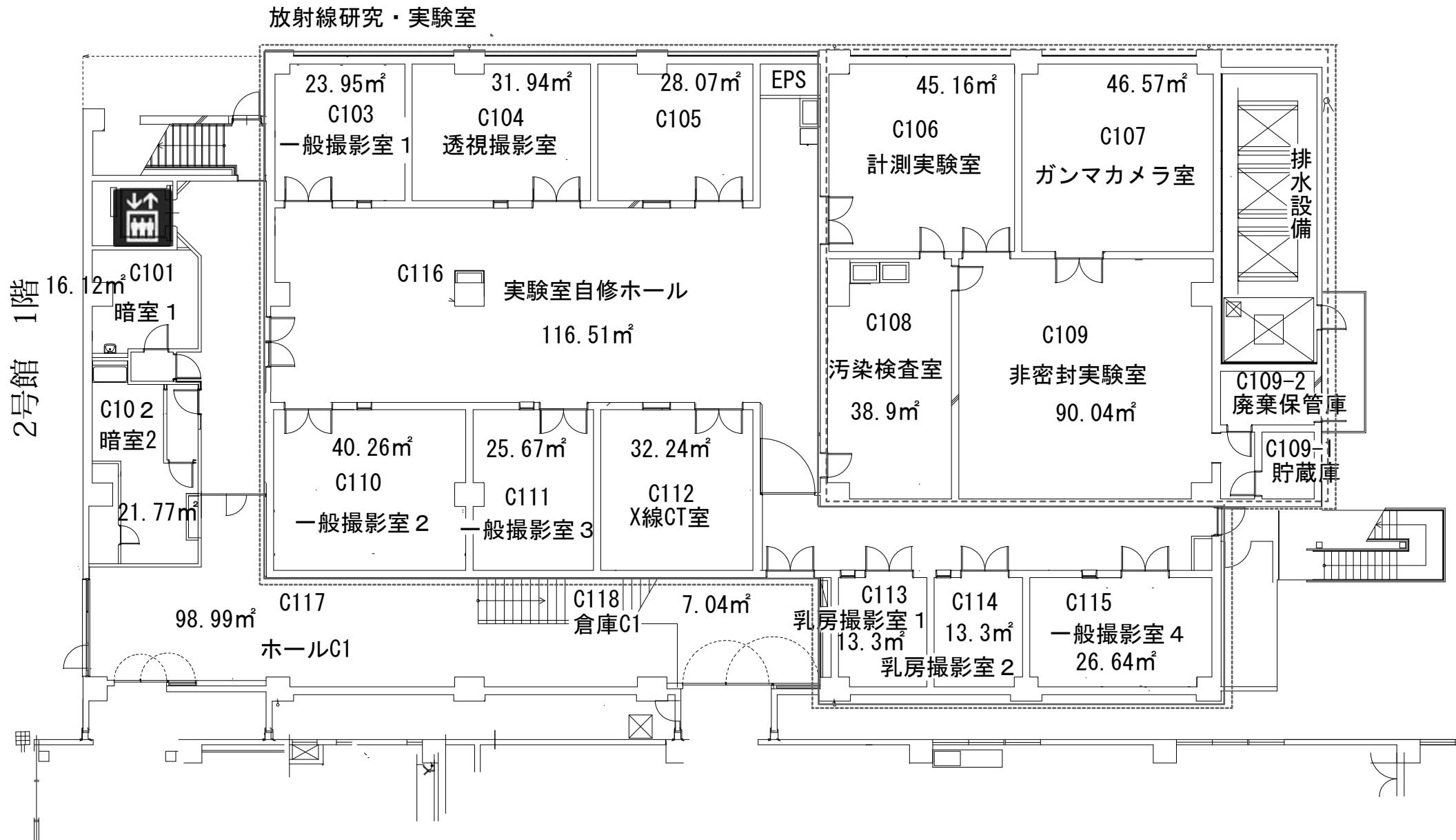


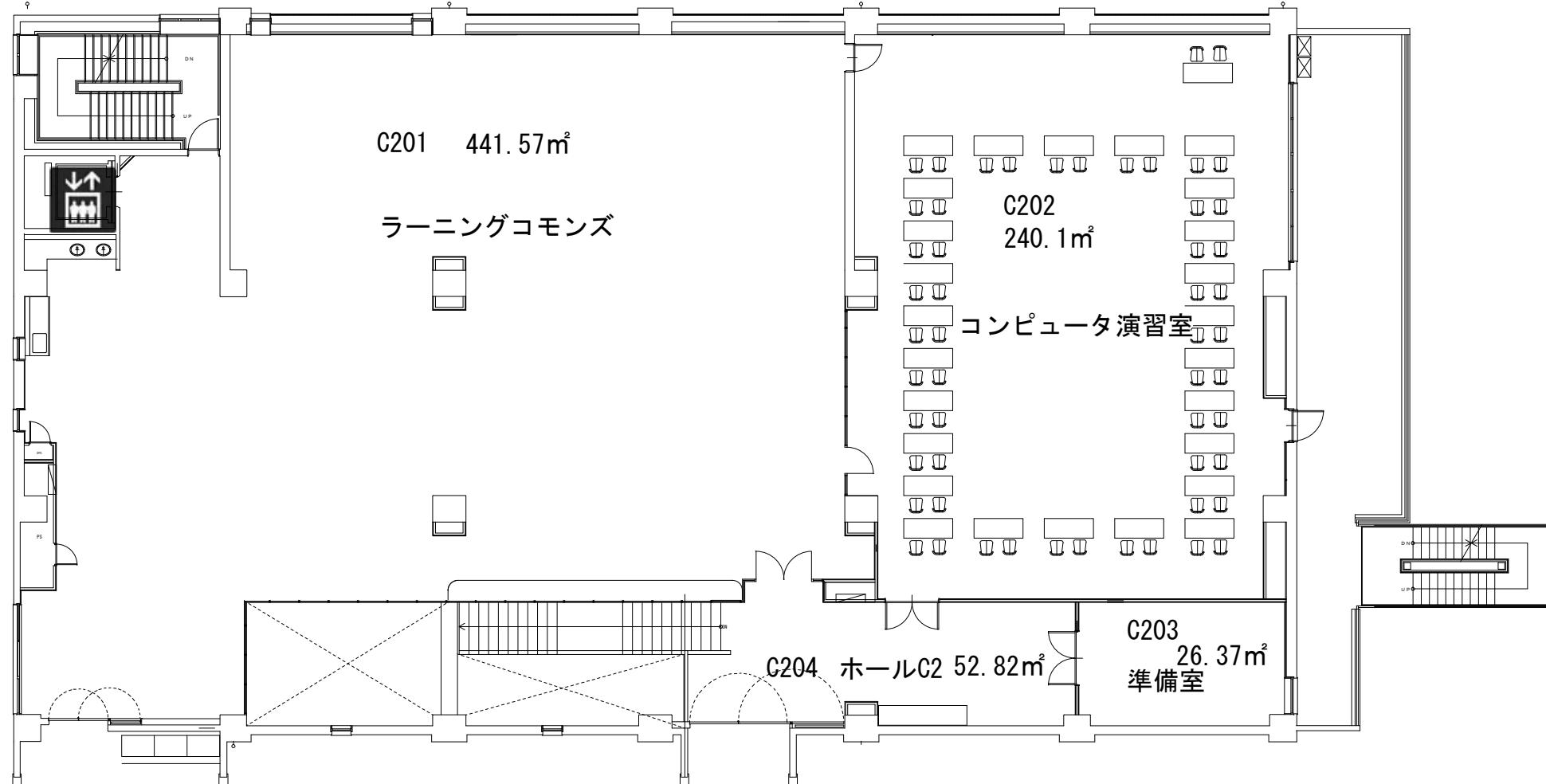


—図面—14—

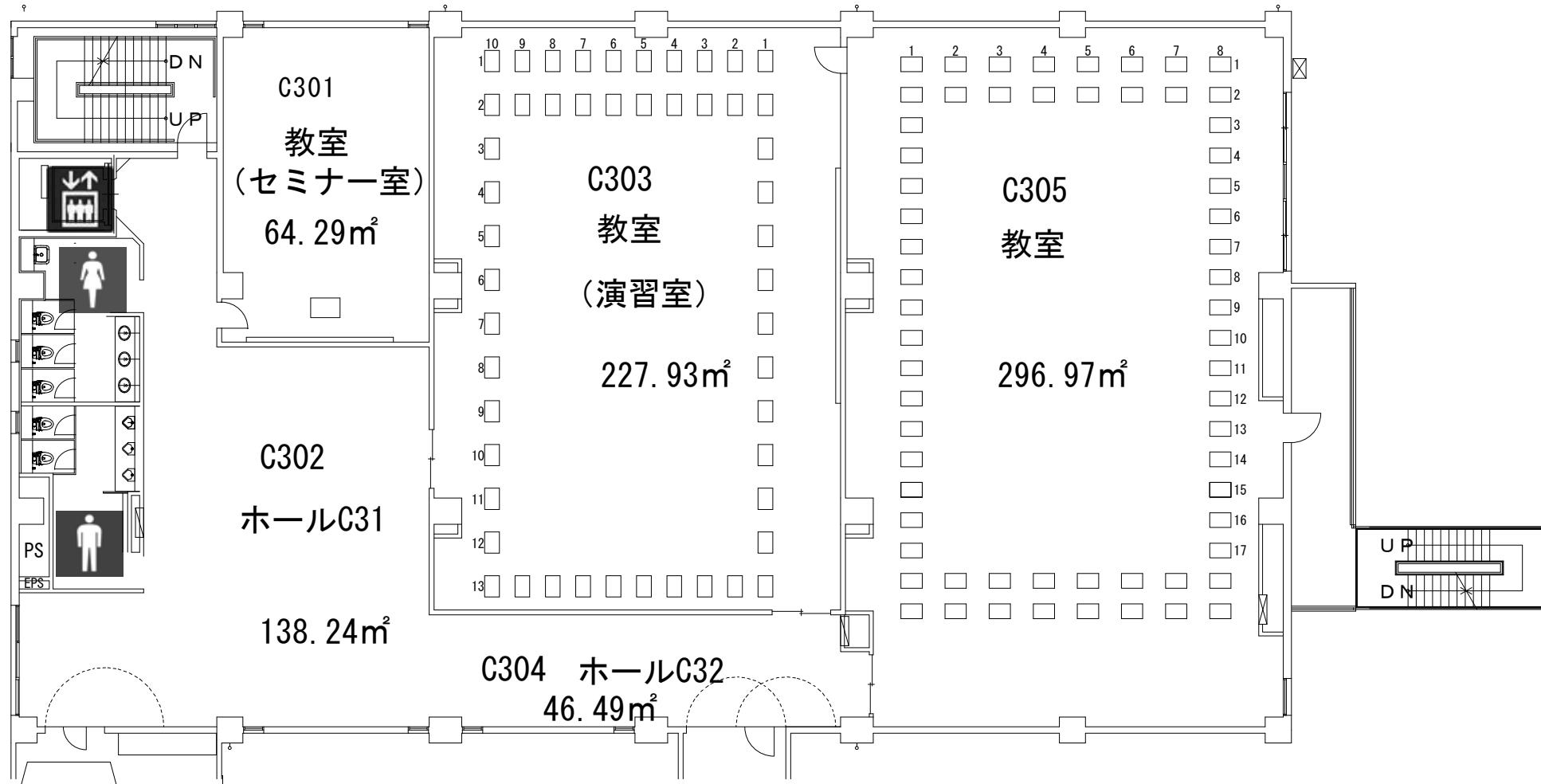
## 2号館 (C棟)





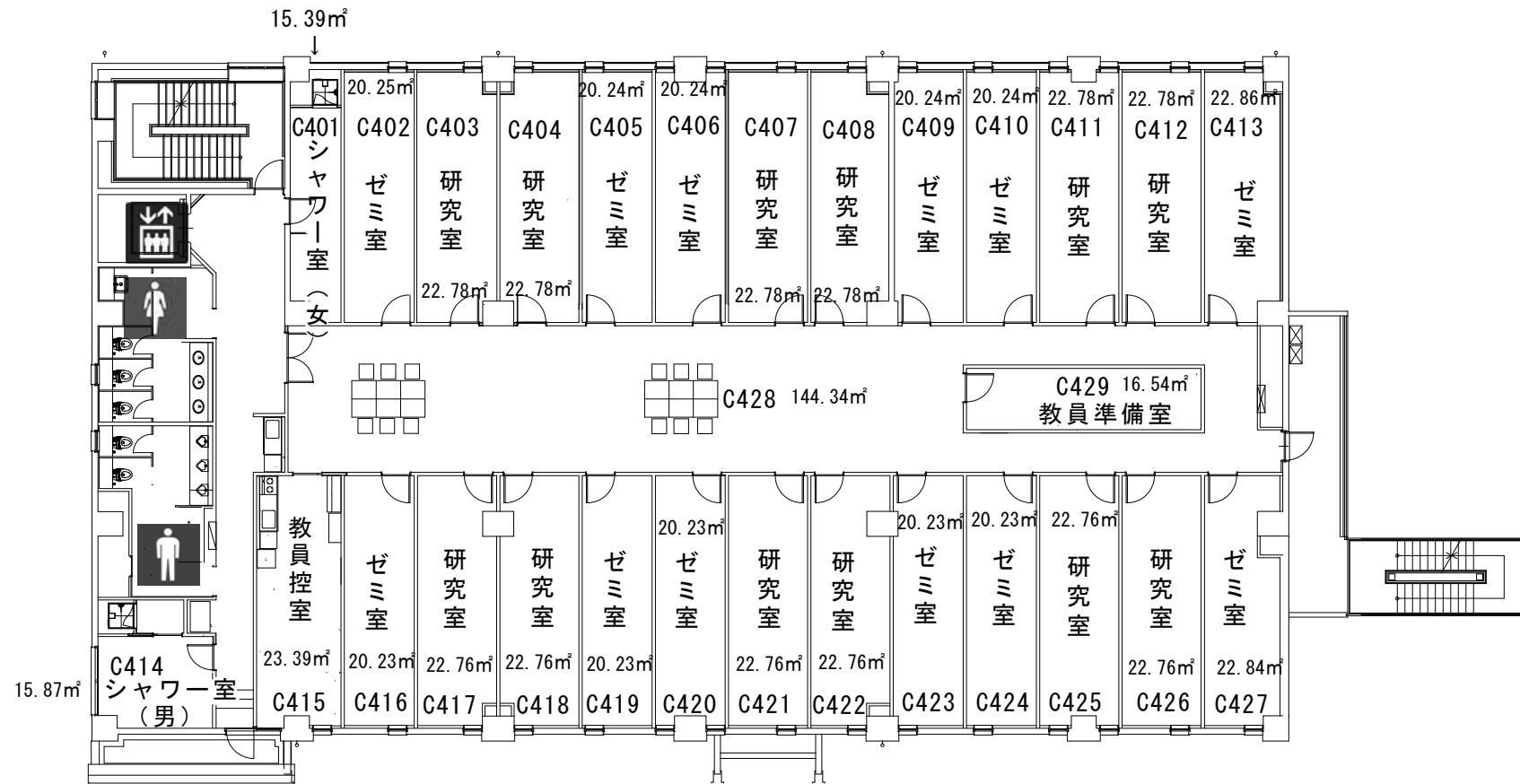


2号館 3階



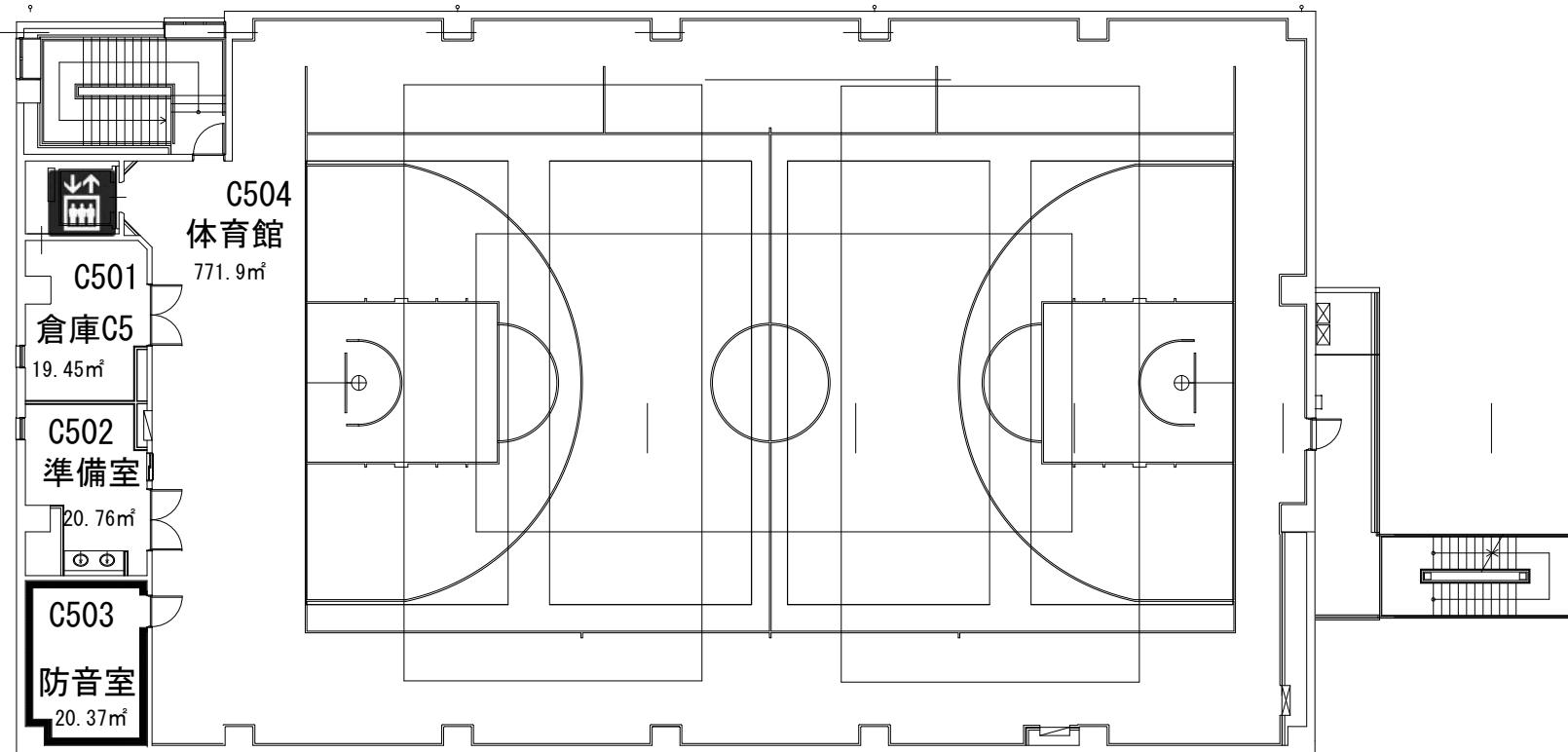
4階

2号館 4階



5階

2号館 5階



## 京都医療科学大学 学則

### 第1章 総則

#### (目的)

**第1条** 京都医療科学大学（以下「本学」という）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とする。

#### (自己評価等)

**第2条** 本学は、教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育・研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

#### (学部、学科及び学生定員)

**第3条** 本学において、設置する学部、学科及びその学年定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
医療科学部	放射線技術学科	90 人	360 人

#### (修学年限)

**第4条** 修学年限は4年とする。

#### (在学年限)

**第5条** 学生は8年を超えて在学することはできない。

#### (学年)

**第6条** 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### (学期)

**第7条** 学年を次の2期に分け、学期ごとに15週の授業を行うことを基本とする。

前期 4月1日から9月23日まで

後期 9月24日から翌年3月31日まで

**(休業日)****第8条** 休業日は次のとおりとする。

- 一 日曜日
  - 二 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
  - 三 創設記念日 9 月 19 日
  - 四 春季休業日 3 月 21 日から 3 月 31 日まで
  - 五 夏季休業日 8 月 10 日から 9 月 23 日まで
  - 六 冬季休業日 12 月 23 日から 1 月 7 日まで
- 2) 必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3) 第 1 項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

**第 2 章 入学、休学、留学、退学及び除籍****(入学の時期)****第9条** 入学の時期は、学年のはじめとする。**(入学資格)****第10条** 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者、または中等教育学校を卒業した者。
- 二 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）。
- 三 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの。
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- 五 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの。

**(入学の出願)**

**第11条** 本学に入学を志願する者は、検定料を添えて本学所定の書類を提出しなければならない。

**(入学者の選考)**

**第12条** 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

**(入学手続及び入学許可)**

**第13条** 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

**(編入学、再入学、転入学)**

**第14条** 学長は、本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により、転入学を願い出た者は、その際現に在学する学部の長又は当該大学の長の許可書を添えて願書を提出しなければならない。

3 第1項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

**(退学)**

**第15条** 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

**(留学)**

**第16条** 外国の大学又は短期大学に留学を志願する学生は、学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

2 前項により留学した期間は、第5条に規定する在学年限に算入する。

3 第1項の規定により留学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに復学後に在学すべき年数については、学長が決定する。

**(休学)**

**第17条** 疾病その他のやむを得ない理由により2ヵ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て、その学年の終わりまで、休学することができる。

2 疾病その他のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

**(休学の期間)**

**第18条** 休学期間は、引き続き1年を超えることができない。ただし、特別の理由があると認められるときは、引き続き更に1年まで延長することができる。

2 休学期間は、第5条の在学年限に算入しない。

**(復学)**

**第19条** 休学期間中にその理由が消滅した場合には、学長の許可を得て復学することができる。

**(除籍)**

**第20条** 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- 一 第5条に定める在学年限を超えた者
- 二 第17条第1項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- 三 授業料等の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者
- 四 長期間にわたり行方不明の者

**第3章 教育課程、履修方法等****(授業科目)**

**第21条** 授業科目を分けて、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目とする。

2 授業科目の区分、単位数等は、別表1のとおりとする。

**(単位の計算方法)**

**第22条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義及び演習については15時間から30時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

**(履修登録)**

**第23条** 学生は、毎学期のはじめに履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

- 2 前項の登録をしない授業科目は、履修することができない。
- 3 1項において、1年間に履修科目として登録できる合計単位数の上限は48単位とする。

但し、次の各号に定める科目の単位数は、登録できる合計単位数には含めないものとする。

- 一 自由科目
- 二 学長が認めた科目

#### (単位の授与)

**第 24 条** 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

#### (入学前の教育施設等における学修)

**第 24 条-2** 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に、他の大学（外国の大学を含む）若しくは短期大学（外国の短期大学を含む）で履修した教養教育科目について修得した単位（大学設置基準第 31 条に定める科目履修生として修得した単位を含む）を、本学に入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定することができる。

- 2 前項の認定は当該大学等の交付する成績証明書等により学長が行う。
- 3 1 項で認定が行える単位の合計は「人間と生活」に区分される科目 10 単位を上限とする。

#### (長期履修)

**第 24 条-3** 学長は、学生が、事情により、修学年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨申し出たときは、その計画を審議し認めることができる。

#### (試験)

**第 25 条** 試験は、筆記試験その他の方法によって行う。

- 2 試験は、学期末または学年末に行う。ただし、各授業科目の担当者が必要と認めたときは臨時に行うことがある。
- 3 試験に関する必要な事項は別に定める。

#### (成績の評価)

**第 26 条** 授業科目の試験の成績は、秀、優、良、可及び不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。

- 2 本学の定めるところにより、特定の授業科目については、これら以外の表記で成績評定を表すことができる。

## 第4章 卒業

### (卒業の要件)

**第27条** 本学を卒業するためには、4年以上在学し別表1に定めるところにより、128単位以上を修得しなければならない。

### (卒業)

**第28条** 本学則に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位数を修得した者については、学長が卒業を認定する。

### (学位の授与)

**第29条** 前条の規定により卒業した者には、本学学位規程の定めるところにより学士の学位を授与する。

2 前項の学位には、学科の区分に従い、次のとおり専攻分野の名称を付記するものとする。

放射線技術学科 放射線技術学

## 第5章 聴講生、研究生

### (聴講生)

**第30条** 学長は、本学の授業科目を聴講しようとする者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可し、授業科目を聴講させることができる。

### (研究生)

**第30条-2** 学長は、本学において特定の事項について研究を希望する者があるときは、本学の授業、研究及び設備に妨げのない限り、選考の上研究生として入学を許可することができる。

## 第6章 学費

### (授業料等の金額)

**第31条** 授業料等の金額は、別表2に定める。

**(授業料等の納付期)**

**第32条** 授業料等は、所定の期日までに納付しなければならない。

**(退学及び停学の場合の授業料等)**

**第33条** 前期又は後期の中途において退学又は除籍された者（第20条第3号に該当する者を除く）は、当該期分の授業料等は徴収する。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

**(休学の場合の授業料等)**

**第34条** 休学した者は、休学在籍料を納付しなければならない。その他の費用は免除される。ただし、休学を申し出た日の属する期分の授業料等は全額納付しなければならない。

**(復学の場合の授業料等)**

**第35条** 前期又は後期の中途において復学した者は、当該期分の授業料等を復学した月に納付しなければならない。

**(授業料等の徴収猶予)**

**第36条** 経済的理由によって授業料等の納付が困難であると認められ、かつ学業優秀と認められる者、又はその他やむを得ない事情があると認められる者については、授業料等の徴収を猶予または減免することができる。

2 前項の授業料等の徴収猶予または減免に関して必要な事項は別に定める。

**(納付した授業料等)**

**第37条** 納付した検定料、入学金及び授業料等は、原則として返付しない。

**第7章 職員組織****(職員)**

**第38条** 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員を置く。

2 前項のほか、技術職員その他必要な職員を置くことができる。

**(学長)**

**第38条-2** 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

**第8章 教授会**

**(教授会)****第39条** 本学に教授会を置く。

2 教授会に関する事項は別に定める。

**第9章 賞罰****(表彰)****第40条** 学生として表彰に値する行為があった者は、本学学生の表彰に関する規程にしたがい、学長が表彰する。**(懲戒)****第41条** 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、本学学生懲戒規程にしたがい学長が懲戒する。**附則**

1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

**附則**

1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

2 この学則の授業科目の履修及び卒業要件については、平成23年度入学生から適用する。

3 平成22年度以前の入学生の授業科目の履修及び卒業要件については、なお従前の例による。

4 平成22年度以前の入学生で平成23年度に1年次に在籍する学生はこの学則の適用を受けることが出来る。

**附則**

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

**附則**

1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。

**附則**

1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

## 附則

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則の授業科目の履修及び卒業要件については、平成 28 年度入学生から適用する。
- 3 平成 27 年度以前の入学生の授業科目の履修及び卒業要件については、なお従前の例による。
- 4 平成 27 年度以前の入学生で平成 28 年度に 1 年次に在籍する学生はこの学則の適用を受けることが出来る。

## 附則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

## 附則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

## 附則

- 1 この学則は、令和 4 (2022) 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則の授業科目の履修及び卒業要件については、令和 4 (2022) 年度入学生から適用する。
- 3 令和 3 (2021) 年度以前の入学生の授業科目の履修及び卒業要件については、なお従前の例による。
- 4 令和 3 (2021) 年度以前の入学生で令和 4 (2022) 年度に 1 年次に在籍する学生はこの学則の適用を受けることが出来る。

## 附則

- 1 この学則は、令和 6 (2024) 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規程にかかわらず、令和 6 (2024) 年度乃至令和 9 (2027) 年度の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	入学定員	収容定員
令和 6 (2024) 年度	80 人	320 人
令和 7 (2025) 年度	90 人	330 人
令和 8 (2026) 年度	90 人	340 人
令和 9 (2027) 年度	90 人	350 人

別 表 1

授業科目の区分、卒業要件に必要な単位数

授業科目の区分		卒業に必要な履修単位数		
		必修	選択	計
教養教育 科目	科学的思考の基盤	5	-	15
	人間と生活	6	4	
専門基礎 科目	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	18		
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	21		
専門科目	診療画像技術学・臨床画像学	24		3 107
	核医学検査技術学	6		
	放射線治療技術学	7		
	医療画像情報学	8		
	放射線安全管理学	4		
	医療安全管理学	2		
	実践臨床画像学	2		
	臨床実習	12		
	総合科目	6	-	6
合 計		128 (必修121、選択7)		

## 授業科目【教養教育科目】

区分	授業科目	単位数			卒業に必要な単位数	
		必修	選択	自由	必修	選択
教養教育科目	科学的思考の基盤	基礎数学			1	—
		数学	1			
		物理学	1			
		化学	1			
		コンピュータ学	1			
		コンピュータ演習			1	
		情報処理学		1		
	人間と生活	人文科学	文章表現の方法	1		2単位以上
			コミュニケーション論	1		
			現代社会と倫理		1	
			心理学入門		1	
		社会科学	日本文学を読む		1	
			社会と医療		1	
			健康な生活と医療の法		1	
	外国語	英語	時事問題から学ぶ日本経済		1	2単位以上
			英語	1		
			医療英語	1		
			医療英語コミュニケーション	1		
			英語コミュニケーション I		1	
			英語コミュニケーション II		1	
			中国語入門		1	
			中国語コミュニケーション		1	
	初年次に学ぶ大学でのスタディ・スキルズ		1			

## 授業科目【専門基礎科目および専門科目】

区分	授業科目	単位数			卒業に必要な単位数	
		必修	選択	自由	必修	選択
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生命・医療倫理学	1			専門基礎科目及び専門科目の中から3単位以上
		解剖学 I	2			
		解剖学 II	2			
		解剖学特論			1	
		細胞生物学	2			
		生理学	2			
		臨床医学概論 I	2			
		臨床医学概論 II	2			
		臨床医学概論 III	1			
		臨床心理学	2			
		救急医学	1			
		看護学概論	1			
専門科目	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	プログラミング概論	2			39
		プログラミング演習		1		
		応用数学	2			
		医用工学 I	2			
		医用工学 II	2			
		放射線物理学 I	2			
		放射線物理学 II	2			
		放射線生物学	2			
		放射化学	2			
		放射線計測学 I	2			
		放射線計測学 II	2			
		専門基礎科目実験	1			
専門科目	診療画像技術学・臨床画像学	診療放射線技術学概論	1			65
		診療画像機器学 I	2			
		診療画像機器学 II	2			
		診療画像機器学 III	2			
		エックス線撮影技術学	2			
		診療画像検査学 I	2			
		診療画像検査学 II	2			
		診療画像検査学 III	2			

	画像機器工学特論	1			
	臨床画像学Ⅰ	2			
	臨床画像学Ⅱ	2			
	画像診断技術学	1			
	診療画像解剖学演習		1		
	先端放射線技術学特論			1	
	専門科目実験Ⅰ	1			
	専門科目実験Ⅱ	1			
	専門科目実験Ⅲ	1			
	専門科目実験Ⅳ	1			
核医学検査技術学	臨床核医学概論	2			
	核医学検査技術学Ⅰ	2			
	核医学検査技術学Ⅱ	2			
放射線治療技術学	放射線腫瘍学概論	2			
	放射線治療技術学Ⅰ	2			
	放射線治療技術学Ⅱ	2			
	放射線治療技術学Ⅲ	1			
医療画像情報学	医療情報学Ⅰ	2			
	医療情報学Ⅱ	2			
	医療画像情報学	2			
	画像工学	2			
	画像工学特論		1		
放射線安全管理学	放射線安全管理学Ⅰ	2			
	放射線安全管理学Ⅱ	2			
医療安全管理学	医療安全管理学	2			
実践臨床画像学	実践臨床画像学実習	1			
	実践臨床画像学	1			
臨床実習	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	2			
	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	6			
	核医学検査技術学臨床実習	2			
	放射線治療技術学臨床実習	2			
総合 科目	総合研究	2			6
	総合演習	4			
卒業に必要な単位数			128	128 単位	

## 別表 2

## 授業料などの金額

平成 28 年度以前入学者

費目	金額	備考
入学検定料	30,000 円	応募時に一括納入
入学金	350,000 円	入学手続き時に一括納入
授業料	800,000 円	前期分 400,000 円 後期分 400,000 円
実験実習料	350,000 円	前期分 175,000 円 後期分 175,000 円
施設設備費	300,000 円	一括納入 300,000 円
休学在籍料	400,000 円	半期休学は半額納入

## 授業料などの金額

平成 29 年度以降入学者

費目	金額	備考
入学検定料	30,000 円	応募時に一括納入
入学金	250,000 円	入学手続き時に一括納入
授業料	900,000 円	前期分 450,000 円 後期分 450,000 円
実験実習料	1 年目 320,000 円 2 年目以降 350,000 円	1 年目 前期分 145,000 円 後期分 175,000 円 2 年目以降 前期分 175,000 円 後期分 175,000 円
施設設備費	350,000 円	前期分 175,000 円 後期分 175,000 円
休学在籍料	450,000 円	半期休学は半額納入

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類（目次）

1. 学則変更（収容定員変更）の内容.....	2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性.....	2
(1) 収容定員変更の背景.....	2
(2) 収容定員変更の必要性.....	4
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 .....	5

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

京都医療科学大学は、令和 7 年度から医療科学部 放射線技術学科（入学定員：80 名）の収容定員を次の通り変更する。

＜変更前＞

	入学定員	収容定員
医療科学部 放射線技術学科	80 名	320 名
大学全体の合計	80 名	320 名

＜変更後＞

	入学定員	収容定員
医療科学部 放射線技術学科	90 名	360 名
大学全体の合計	90 名	360 名

### 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

#### （1）収容定員変更の背景

##### ①本学の建学の精神・大学の基本理念

明治 29 年、当時の島津製作所社長であった島津源蔵は、我が国で最初のエックス線写真の撮影に成功した。エックス線装置の普及によるエックス線技術者の需要増加、医学界からの強い要請という背景から、昭和 2 年、島津源蔵は我が国初のエックス線技師教育機関「島津レントゲン技術講習所」を設立（私立学校令に基づき、京都府知事により認可）・開校した。設立にあたり建学の精神を次のように定めた。『本所はレントゲン学に関する技術を教授するとともに、品性を陶冶し有為の技術者を養成するを以て目的とする』

開校以来、診療エックス線技師制度の変遷に対応しながら、専門学校、専修学校、短期大学と技師教育一筋に歩んできた。島津学園は、このような 90 年以上に

渡る歴史を継承し、高度医療の時代の中で平成 19 年 4 月に京都医療科学大学（以下、「本学」とする）を開学し 4 年制大学として新たなスタートを切った。設立以来の卒業生は 5000 名を超え、現役で 2000 名以上が全国の医療機関で活躍している。少なからず我が国の医療における放射線利用の発展に寄与してきたと考えている。

## ②本学の使命・目的と社会的要請

本学は建学の精神を基軸とし、『教養教育の充実と、高度医療技術者育成への医療社会からの要請に対応し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成する』を本学の使命とし、その目的を「京都医療科学大学 学則」第 1 条に『京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び科学技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とする。』と定めている。

この基本理念に則り、高い品格と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる技術者を一人でも多く育成すべく努めている。本学の開学以来、国家試験合格率は常に全国平均を上回っており、令和 4 年度の診療放射線技師国家試験合格率は 100% であった。



また、就職率においても開学以来 100%を維持しており、求人倍率は毎年 10 倍を超している。その結果、入学定員に対する入学志願者数の倍率は全ての入学試験において常に 3~5 倍を維持している。これは、本学の診療放射線技師養成に対する社会的要請が強いということを示していると思われる。

## (2) 収容定員変更の必要性

### ①入学志願者数、入学者数と本学の使命

前述のとおり、多くの入学志願者があるなかで、高度医療技術者育成への医療社会からの要請に対応し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を一人でも多く育成するという使命を果たすために、入学定員よりも若干多めの入学者数としてきた。今回、入学定員を 90 名とする申請を行うが、既に 90 名前後の入学者を受け入れてきたという実態があり、今後も本学の使命遂行のため、90 名前後の入学者数を受け入れる予定である。

### ②入学定員と入学者数の乖離

過去より長期にわたり本学における入学者数は 90 名前後で推移してきた。社会で活躍する優秀な診療放射線技師を一人でも多く輩出したいという思いからであるが、一方で、入学定員との乖離は問題であるとの認識は持ち続けてきた。令和 4 年 11 月 22 日付の文部科学省通知により、大学等経常費補助金の取扱いについて、令和 4 年度までは入学定員超過率による不交付措置が実施されていたが、令和 5 年度から収容定員超過率による不交付措置に変更されることになると同時に、収容定員超過に対する増減率の厳格化が実施されることを機に、本学でも入学定員と入学者数の乖離を是正するために、入学定員を 90 名に変更すべきであるという結論に至った。

年度	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
入学者数	91 名	87 名	96 名	90 名	95 名	90 名	101 名	91 名

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

基幹教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、教員組織を担保すると同時に、収容定員変更後も教育課程、教育方法等について同等以上となるように適切な組織運営を行っている。さらに、施設・設備についても必要十分な整備を行なっている。

ア) 本学は、診療放射線技師学校養成所として、診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、適正な教育課程、教育方法、履修指導方法、教員配置を行っている。以降に具体的に説明を行う。

#### ①教育課程

##### 1) カリキュラム設計

本学のカリキュラムは診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、さらに教養教育等の科目を追加した形で設計されている。ディプロマポリシーにて要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、新入生が4年間で診療放射線技師として適切な学力、能力、素養を習得できるように段階的な科目配置を行っている。今回の収容定員変更にともなうカリキュラム及び具体的な授業内容の変更は無い。

##### 2) 教員の質

本学の教員体制としては、担当科目の講義、演習、実験等について最も適するとともに経験豊かな教員を配置している。具体的には、医師、診療放射線技師、工学、数学、薬学、心理学、英語、国語等の専門教員を適切に配置している。医師系教員の配置数は4名であり、他学の診療放射線学科と比較しても特に在籍数が多い。解剖学を中心に放射線科医でもある教員が専門的な知識や実践的なスキルについて、わかりやすく丁寧な指導を行っている。診療放射線技師の教員は10名が配置されており、実務経験の豊かな教員が実際の臨床現場で役に立つ実践に即した指導を行っている。実務経験のある教員による講義は全講義単位数の77%を占める。今回の収容定員変更にともなう教員配置の変更は無い。

##### 3) 学習環境の整備

学習環境について、本学では大学病院と遜色のない医療機器を完備している。これらの最新機器を活用して、現場で役立つスキルが身につく、質の高い実験を行っている。X線CT装置、一般撮影装置、乳房X線装置など使用頻度の高い装置は複数台の設置を行い、出来るだけ学生が使用できる機会を増やしている。このことにより、卒業後に医療機関に就職した際にも、違和感なく職場に入っていける環境を整えている。さらに、毎年の予算には設備更新、医療機器増強を組み込み計画的な学習環境整備を行っている。

学生のサポートについては、学生支援センターや各委員会が中心となり、入学前教育から始まり、基礎教育、キャリア支援、学生相談など学生の学習をサポートする体制が整備されている。専門の臨床心理士の配置などメンタル面でのサポートにも力を入れている。

今回の収容定員変更にともなう学習環境および環境整備方針の変更はなく、引き続き環境整備の強化に取り組んでいく。

#### 4) 継続的改善

本学では、内部質保証の取り組みとして23ある委員会単位でのPDCAを行っており、教学、研究、大学運営について継続的な改善を図っている。PDCAのテーマは中期計画に連動した内容であり、自己点検委員会が取り纏めを行い、毎年、全体について教授会での確認を行っている。

教育課程における継続的改善は、教学マネージメント委員会、教務委員会を中心に定期的な評価とフィードバックを行い、継続的改善に取り組んでいる。

また、学生の意見や要望を反映し、教育内容や方法を適宜見直している。学生アンケートを毎年行っているが、2023年度4年生卒業時のアンケート（回答数79名、回答率100%）における「本学の授業に対する取り組みと満足度」に関する設問では、97.3%の学生から「授業に満足している」との回答を得ている。これらの取り組みにより、今後も継続的な改善を続けていく。

#### ②教育方法

##### 1) 教育方法の多様性

本学では、学生が主体的に学び取り組むような教育方法（グループワーク、ディスカッションなど）を導入している。また実践的学習として、実験、実習は特に力を入れている分野であり、少人数のグループ編成、多数の教員配置により、理論と実践を結びつける機会を提供している。さらに多様性を理解することにつながる国際交流に力を入れており、ベトナム、台湾での研修、相互交流等を行い、渡航費用については本学独自の奨学金による約半額の補助を行っている。これらの教育方法の多様性への取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

##### 2) 学外連携

本学は法人設立母体である島津製作所や本学卒業生の多くが在籍する京都、滋賀地区的医療機関などと連携して、現場での実践的な学びを提供している。島津製作所からは最先端の医療機器の開発技術者を非常勤講師として任用し最新の知識を吸収する機会となっている。また、島津製作所において医療機器製造現場の見学や、職場体験、医学研究者の講演会など、さまざまな体験が可能となっている。

医療機関との連携については、多くの卒業生が在籍する関西屈指の総合病院で臨床実習を実施している。提携医療機関における臨床実習指導者数は156名（2024年度予定）であり、540時間にわたり最先端の臨床技術を経験することが出来る。

海外の連携先としては、ベトナム有数のチョーライ病院やフエ医科大学と学術協定を結び、学術交流や現地医療機関での研修など、国際的な視野、日本の医療機関との違いの学びなど、多様性の理解につながる教育を行っている。台湾の元培医事科技大学は本学の卒業生が台湾で設立した医療大学であり、学術協定を締結し長年にわたり交流を行っている。毎年、本学学生は台湾研修に参加しているが、本学と同じ診療放射線技術を学ぶ学生同士が活発な交流を行っている。このような学外連携の取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

#### ③履修指導方法

学習成果の評価とフィードバックについては、多様な評価方法を取り入れている。定期テストだけでなく、普段の学習状況の把握と学習習慣定着のための小テスト、レポート

ト、プレゼンテーション、実技試験なども行っている。特定の科目についてはグループワークも取り入れており、成果を上げている。これらの履修指導方法についてはシラバスに学習目標、成績評価の方法とともにアクティブラーニング要素として記載されている。履修指導方法について、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

#### ④S/T比率

本学の過去5年間のS/T比率の実績は下記のとおりである。

前述の「2. 学則変更（収容定員変更）の必要性(2)収容定員変更の必要性 ②入学定員と入学者数の乖離」にて説明したとおり、本学の過去8年間の入学者数は90名前後で推移しており、今後はこの入学定員と入学者数の乖離を是正していくため、下記のとおり定員変更後のS/T比率も従来と大きな差は生じないと考えている。なお、令和7年度から完成年度である令和10年度までのS/T比率については、毎年度、定員の90名が入学するものとし、既に入学している学年については実際の在学生数をもとに算出した。

令和2年度から令和6年度のS/T比率実績および令和7年度から令和10年度のS/T比率予定

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16.7	16.3	16.6	17.2	17.0	16.9	16.5	16.3	16.4

朝日新聞・河合塾の共同調査「ひらく日本の大学」の2023年度調査によると私立大学保健系学部のS/T比率は、最大値35.9、中央値17.5、最小値5.4であり、多くの私立大学において、概ね15から20の間に分布している。本学のS/T比率は、他の私立大学保健系学部と比較しても遜色はなく、適切な範囲であると判断している。

S/T比率を適正に保つためにも、収容定員超過に対する厳格化の方針に従い、収容定員変更後は実際の在籍学生数を収容定員に可能な限り近づける努力を行う。

なお、教員組織について、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

#### ⑤少人数教育

本学は小規模単科大学であり、その特徴を生かした少人数教育を実施している。講義の中でも特に少人数により教育効果が見込まれるプログラミングや英語教育については、1つの学年を2~3組のグループに分け、教員が複数回、同じ講義を行うことにより、個々の学生に対して手厚い指導が行える体制を取っている。同様に実験科目については、学生を数人のグループに分けた上で指導を行い、複数の教員を同時に配置することにより、教育効果を高めている。成績不振学生についての指導は個々の学生の状況を把握した上で、科目ごとに補習授業を行うとともに、4年生の総合演習授業において、一定の成績に至らない学生については、特別補講を行っている。

#### ⑥臨床実習体制の強化

臨床実習は、京都および滋賀地域の代表的な総合病院を網羅して、540時間にわたり実

践に即した指導を行っている。2023年度までは14病院で臨床実習を行っていたが、さらに複数病院での実習を可能とした実習体制を強化すべく、2024年度から16病院において臨床実習を実施する予定である。複数の実習先を経験し、視野や就職先の選択肢を広げる施策に、今後も継続して取り組んでいく。

以上の①～⑥に示したとおり、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されていると判断している。

#### イ) 施設・設備について

本学では、1年生から4年生が同時限に平行して講義を受講できるように全座席数110名以上の教室が4室配置されている。従って、定員90名に対する全員授業・試験について必要十分な施設・設備が設置されている。一方で、前述のとおり、本学では少人数教育に力を入れており、プログラミングや英語教育は1つの学年を2～3組のグループに分け、教員が複数回、同じ講義を行うことにより教育効果の向上を図っている。これらの講義に使用する教室は、少人数授業用として、全座席数が35名から63名の教室を7室配置している。1組あたりの学生数は通常、30名以下となるので、少人数教育についても、必要十分な施設・設備が確保されている。

講義が支障なく可能なことを具体的に示すために、実際の授業時間割に利用教室と受講学生数を記載した資料を資料1（2024年度前期時間割）資料2（履修者数集計表）として示す。以上のことから、収容定員増加後の施設・設備が教育に支障なく適切に整備されていると判断している。

各教室座席数一覧			
教室	全座席数	用途	座席配置
A501	120	全員授業・試験	1列席
C305	128	全員授業・試験	1列席
C303	117	全員授業・試験	1列席
A302	110	全員授業	2列席
A304	110	全員授業	2列席
C202（コンピュータ演習室）	110	全員授業	固定
A401	63	少人数授業	1列席
A402	53	少人数授業	1列席
B308	53	少人数授業	2列席
B309	53	少人数授業	2列席
A301（MM教室）	52	少人数授業	固定
A403	50	少人数授業	1列席
C301（セミナー室）	35	少人数授業	1列席

## 学則変更の趣旨（資料）（目次）

1. 別記様式第2号（その2の1）	2
2. 資料1（2024年度前期時間割）	3
3. 資料2（履修者数集計表）	4

教 育 課 程 等 の 概 要															
科 目 区 分		授業科目の名称		配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態		基幹教員等の配置				備考
必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹教員以外の教員				
基礎分野	科学的思考の基盤	基礎数学	1前			1	○					1			
		数学	1後	1			○			1					
		物理学	1前	1			○			1					
		化学	1後	1			○				1				
		コンピュータ学	1前	1			○				1				
		コンピュータ演習	1前			1		○		1					
		情報処理学	1後	1			○			1					
基礎分野	人間と生活	人 文 科 学	文章表現の方法	1前	1		○				1				
			コミュニケーション論	1前	1		○				1				
			現代社会と倫理	1後		1	○					1			
			心理学入門	1後		1	○				1				
			日本文学を読む	1後		1	○				1				
		科 社 学 会	社会と医療	1前		1	○			3	1				
			健康な生活と医療の法	1前		1	○					4			
			時事問題から学ぶ日本経済	1前		1	○					1			
		外 国 語	英語	1前	1		○				1				
			医療英語	1後	1		○				1				
			医療英語コミュニケーション	2前	1		○					1			
			英語コミュニケーション I	1前		1	○					1			
			英語コミュニケーション II	1後		1	○					1			
			中国語入門	1前		1	○					1			
			中国語コミュニケーション	1後		1	○					1			
		初年次に学ぶ大学でのスタディ・スキルズ		1前	1		○				1	1			
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	小計(23科目)		—	11	10	2	—	5	3	9	0	0	13	—
		生命・医療倫理学	1後	1			○					1			
		解剖学 I	1前	2			○				1				
		解剖学 II	1後	2			○				1				
		解剖学特論	3前			1	○			1			1		
		細胞生物学	1後	2			○					1			
		生理学	1後	2			○				1				
		臨床医学概論 I	2前	2			○				1				
		臨床医学概論 II	2後	2			○				1				
		臨床医学概論 III	3前	1			○				1		2		
		臨床心理学	1後	2			○				1				
		救急医学	3後	1			○					1			
		看護学概論	3後	1			○					1			
		プログラミング概論	1後	2			○					1			
		プログラミング演習	2後		1			○		1		1			
		応用数学	2前	2			○				1		1		
		医用工学 I	1後	2			○					1			
		医用工学 II	2前	2			○					1			
		放射線物理学 I	1後	2			○					1			
		放射線物理学 II	2前	2			○					1			
		放射線生物学	2前	2			○					1			
		放射化学	2前	2			○					1			
		放射線計測学 I	2前	2			○					1			
		放射線計測学 II	2後	2			○					1			
		専門基礎科目実験	2後	1				○		1	1				
専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	小計(24科目)		—	39	1	1	—	14	2	3	3	0	8	—
		診療放射線技術学概論	1前	1			○				2	2	2	3	
		診療画像機器学 I	2前	2			○					1			
		診療画像機器学 II	2後	2			○						1		
		診療画像機器学 III	3前	2			○						1		
		エックス線撮影技術学	2前	2			○					1			
		診療画像検査学 I	3前	2			○					1			
		診療画像検査学 II	3前	2			○					1			
		診療画像検査学 III	3後	2			○					1			
		画像機器工学特論	4前		1		○						3		
		臨床画像 I	2後	2			○					1			
		臨床画像 II	3前	2			○					1			
		画像診断技術学	3後	1			○					1			
		診療画像解剖学演習	4前		1			○			3				
		先端放射線技術学特論	4通			1	○				1				
		専門科目実験 I	3前	1				○		1	2				
		専門科目実験 II	3前	1				○		1	1		1		
		専門科目実験 III	3後	1				○			1		2		
		専門科目実験 IV	3後	1				○		1	1	1			
専門分野	核医学検査技術学	臨床核医学概論	3前	2			○				1				
		核医学検査技術学 I	3前	2			○					1			
		核医学検査技術学 II	3後	2			○					1			
	放射線治療技術学	放射線腫瘍学概論	3前	2			○				1				
		放射線治療技術学 I	3前	2											

## 2024年度 前期時間割

履修年次		1学年			2学年		3学年		4学年					
曜日	時限	A ① ② ③			B		A B		A B					
月曜日	1	文章表現の方法(必修) A401 少人数対応の授業 座席数63:履修者28			英語(必修) C202 少人数対応の授業 座席数110:履修者28		応用数学(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者94		診療画像検査学I(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者100					
	2	英語(必修) A301(MM) 少人数対応の授業 座席数52:履修者28			文章表現の方法(必修) A401 少人数対応の授業 座席数63:履修者28		放射線計測学I(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者94		放射線治療技術学I(必須) A501 全員対応可能な授業 座席数120:履修者100					
	3	コンピュータ学(必修) C202 少人数対応の授業 座席数110:履修者28			英語(必修) A301(MM) 少人数対応の授業 座席数52:履修者28		医療情報学I(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者94		診療画像検査学II(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者100					
	4													
火曜日	1				放射線生物学(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者94		臨床画像学II(必須) A304 全員対応可能な授業 座席数110:履修者100							
	2	社会と医療(選択) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者57			医用工学II(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者96		専門科目実験I (必須) 【前期前半】 放射線実験室	専門科目実験II (必須) 【前期後半】 C202 全員対応可能な授業 座席数110:履修者46	総合研究 (各ゼミ室)	診療画像技術学特論(選択) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者82				
	3	解剖学I(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者84			放射化学(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者94									
	4	初年次に学ぶ大学でのスタディ・スキルズ(必修) A401/体育館・グラウンド 全員対応可能な授業 座席数63:履修者42												
水曜日	1				医療英語コミュニケーション(必須) B308 少人数授業 座席数53:履修者24									
	2	中国語入門(選択) A402 少人数対応の授業 座席数53:履修者12		英語コミュニケーションI(選択) A304 少人数対応の授業 座席数110:履修者28		医療英語コミュニケーション(必須) B308 少人数対応の授業 座席数53:履修者24		診療画像機器学III(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者100		診療画像解剖学演習(選択) C202 全員対応可能な授業 座席数110:履修者75				
	3	英語コミュニケーションI(選択) A304 少人数対応の授業 座席数110:履修者29		中国語入門(選択) A402 少人数対応の授業 座席数53:履修者15		医療画像情報学(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者94		放射線腫瘍学概論(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者92		診療画像解剖学演習(選択) A501 全員対応可能な授業 座席数120:履修者75				
	4	コンピュータ演習(自由) C202 全員対応可能な授業 座席数110:履修者11			診療画像機器学I(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者94		臨床核医学概論(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者100							
木曜日	1				放射線物理学II(必須) A304 全員対応可能な授業 座席数110:履修者94		放射線安全管理学II(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者100							
	2	基礎数学(自由) A402 少人数対応の授業 座席数53:履修者37			臨床医学概論I(必須) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者94		専門科目実験I (必須) 【前期前半】 放射線実験室	専門科目実験II (必須) 【前期後半】 C202 全員対応可能な授業 座席数110:履修者46	総合研究 (ゼミ室)	放射線治療技術学特論(選択) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者32				
	3	コミュニケーション論(必修) A501 全員対応可能な授業 座席数120:履修者84												
	4	健康な生活と医療の法(選択) A501 全員対応可能な授業 座席数120:履修者61												
金曜日	1	診療放射線技術学概論(必修) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者87												
	2	物理学(必修) A304 全員対応可能な授業 座席数110:履修者84			エックス線撮影技術学(必須) A302 全員対応可能な授業 座席数110:履修者94		核医学検査技術学I(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者100		放射線安全管理学特論(選択) C303 全員対応可能な授業 座席数117:履修者35					
	3	時事問題から学ぶ日本経済(選択) A402 少人数対応の授業 座席数53:履修者13			医療英語コミュニケーション(必須) B308 少人数対応の授業 座席数53:履修者23		臨床医学概論III(必須) C305 全員対応可能な授業 座席数128:履修者92							
	4						医療英語コミュニケーション(必須) B308 少人数対応の授業 座席数53:履修者23							
土曜日	1 2 3 4													

## 履修者数集計表

対象授業：全授業

定員状況：全授業

授業科目	主担当教員	期間 教室	曜日 時限	合計人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数
1A042 コンピュータ学②	1		前期 C202コンピュ	月曜 1限 28人	0人								
1A061 文章表現の方法①	1		前期 A401教室	月曜 1限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
1A083 英語③	1		前期 A301マルチメ	月曜 1限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
2A040 応用数学	1		前期 C305教室	月曜 1限 94人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
3A050 診療画像検査学 I	1		前期 C305教室	月曜 1限 100人	0人	医療科学部 放射線技術学科	2年 94人						
1A043 コンピュータ学③	1		前期 C202コンピュ	月曜 2限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	3年 100人						
1A062 文章表現の方法②	1		前期 A401教室	月曜 2限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
1A081 英語①	1		前期 A301マルチメ	月曜 2限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
2A090 放射線計測学 I	1		前期 C305教室	月曜 2限 94人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
3A180 放射線治療技術学 I	1		前期 C303教室（演）	月曜 2限 100人	0人	医療科学部 放射線技術学科	2年 94人						
1A041 コンピュータ学①	1		前期 C202コンピュ	月曜 3限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	3年 100人						
1A063 文章表現の方法③	1		前期 A401教室	月曜 3限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
1A082 英語②	1		前期 A301マルチメ	月曜 3限 28人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
2A160 医療情報学 I	1		前期 C303教室（演）	月曜 3限 94人	0人	医療科学部 放射線技術学科	1年 28人						
3A060 診療画像検査学 II	1		前期 C305教室	月曜 3限 100人	0人	医療科学部 放射線技術学科	2年 94人						
40510 画像機器工学特論	1		前期 A501多目的室	月曜 3限 78人	0人	医療科学部 放射線技術学科	3年 100人						

## 履修者数集計表

対象授業：全授業

定員状況：全授業

授業科目	主担当教員	期間 教室	曜日 時限	合計人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数
2A070 放射線生物学		前期 C305教室	火曜 1限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	4年	78人						
3A080 臨床画像学 II		前期 A304教室	火曜 1限	0人 100人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
1A540 社会と医療		前期 C303教室 (演)	火曜 2限	0人 57人	医療科学部 放射線技術学科	3年	100人						
2A050 医用工学 II		前期 C305教室	火曜 2限	0人 96人	医療科学部 放射線技術学科	1年	57人						
3A101 専門科目実験 I (A)		前期 その他	火曜 2限	0人 46人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人	医療科学部 放射線技術学科	3年	2人			
3A111 専門科目実験 II (A)		前期 その他	火曜 2限	0人 46人	医療科学部 放射線技術学科	3年	46人						
1A120 解剖学 I		前期 C303教室 (演)	火曜 3限	0人 84人	医療科学部 放射線技術学科	3年	46人						
2A080 放射化学		前期 A304教室	火曜 3限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	1年	84人						
40520 診療画像技術学特論		前期 C305教室	火曜 3限	0人 82人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
1A101 初年次に学ぶ大学でのステイ・スキルズ (A)		前期 C504体育館	火曜 4限	0人 42人	医療科学部 放射線技術学科	4年	82人						
1A102 初年次に学ぶ大学でのステイ・スキルズ (B)		前期 C504体育館	火曜 4限	0人 42人	医療科学部 放射線技術学科	1年	42人						
2A011 医療英語コミュニケーション (A①)		前期 B308教室	水曜 1限	0人 24人	医療科学部 放射線技術学科	1年	42人						
1A572 英語コミュニケーション I (B)		前期 A304教室	水曜 2限	0人 28人	医療科学部 放射線技術学科	2年	24人						
1A591 中国語入門 (A)		前期 A402教室	水曜 2限	0人 12人	医療科学部 放射線技術学科	1年	27人	医療科学部 放射線技術学科	2年	1人			
2A012 医療英語コミュニケーション (B①)		前期 B308教室	水曜 2限	0人 24人	医療科学部 放射線技術学科	1年	12人						
					医療科学部 放射線技術学科	2年	24人						

## 履修者数集計表

対象授業：全授業

定員状況：全授業

授業科目	主担当教員	期間 教室	曜日 時限	合計 人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数
3A040 診療画像機器学III	101038	前期 C305教室	水曜 2限	0人 100人									
40530 診療画像解剖学演習	1	前期	水曜 2限	0人 75人	医療科学部 放射線技術学科	3年	100人						
1A571 英語コミュニケーション I (A)	1	前期 A304教室	水曜 3限	0人 29人	医療科学部 放射線技術学科	4年	75人						
1A592 中国語入門 (B)	3	前期 A402教室	水曜 3限	0人 15人	医療科学部 放射線技術学科	1年	29人						
2A180 医療画像情報学	1	前期 C303教室 (演)	水曜 3限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	1年	15人						
3A170 放射線腫瘍学概論	1	前期 C305教室	水曜 3限	0人 92人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
1A820 コンピュータ演習	1	前期 C202コンピュ	水曜 4限	0人 11人	医療科学部 放射線技術学科	3年	92人						
2A120 診療画像機器学 I	1	前期 C303教室 (演)	水曜 4限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	1年	11人						
3A140 臨床核医学概論	1	前期 C305教室	水曜 4限	0人 100人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
2A060 放射線物理学 II	1	前期 A304教室	木曜 1限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	3年	100人						
3A210 放射線安全管理学 II	1	前期 C303教室 (演)	木曜 1限	0人 100人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
1A810 基礎数学	3	前期 A402教室	木曜 2限	0人 37人	医療科学部 放射線技術学科	3年	100人						
2A020 臨床医学概論 I	1	前期 C303教室 (演)	木曜 2限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	1年	37人						
3A102 専門科目実験 I (B)	1	前期 その他	木曜 2限	0人 46人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
3A112 専門科目実験 II (B)	1	前期 その他	木曜 2限	0人 46人	医療科学部 放射線技術学科	3年	46人						
1A070 コミュニケーション論	1	前期 A501多目的室	木曜 3限	0人 84人	医療科学部 放射線技術学科	3年	46人						

## 履修者数集計表

対象授業：全授業

定員状況：全授業

授業科目	主担当教員	期間 教室	曜日 時限	合計人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数	所属	学年	人数
40540 放射線治療技術学特論	1	前期 C305教室	木曜 3限	0人 32人	医療科学部 放射線技術学科	1年	84人						
1A550 健康な生活と医療の法	3	前期 A501多目的室	木曜 4限	0人 61人	医療科学部 放射線技術学科	4年	32人						
1A200 診療放射線技術学概論	1	前期 C305教室	金曜 1限	0人 87人	医療科学部 放射線技術学科	1年	61人						
1A020 物理学	1	前期 A304教室	金曜 2限	0人 84人	医療科学部 放射線技術学科	1年	84人	医療科学部 放射線技術学科	2年	2人	医療科学部 放射線技術学科	3年	1人
2A140 エックス線撮影技術学	1	前期 A302教室	金曜 2限	0人 94人	医療科学部 放射線技術学科	1年	84人						
3A150 核医学検査技術学 I	1	前期 C305教室	金曜 2限	0人 100人	医療科学部 放射線技術学科	2年	94人						
40550 放射線安全管理学特論	1	前期	金曜 2限	0人 35人	医療科学部 放射線技術学科	3年	100人						
1A560 時事問題から学ぶ日本経済	3	前期 A402教室	金曜 3限	0人 13人	医療科学部 放射線技術学科	4年	35人						
2A013 医療英語コミュニケーション (A②)	1	前期 B308教室	金曜 3限	0人 23人	医療科学部 放射線技術学科	1年	13人						
3A010 臨床医学概論III	1	前期 C305教室	金曜 3限	0人 92人	医療科学部 放射線技術学科	2年	23人						
2A014 医療英語コミュニケーション (B②)	1	前期 B308教室	金曜 4限	0人 23人	医療科学部 放射線技術学科	3年	92人						
2A099 放射線計測学 I (別指導)	1	前期 C305教室	曜無 時無	0人 3人	医療科学部 放射線技術学科	2年	23人						
2A129 診療画像機器学 I (別指導)	1	前期 C303教室 (演)	曜無 時無	0人 3人	医療科学部 放射線技術学科	3年	3人						
2A149 エックス線撮影技術学 (別指導)	1	前期 A302教室	曜無 時無	0人 2人	医療科学部 放射線技術学科	3年	3人						
33109 臨床核医学概論 (4年不可)	1	前期 A501多目的室	曜無 時無	0人 1人	医療科学部 放射線技術学科	4年	2人						
					医療科学部 放射線技術学科		1人						

## 履修者数集計表

対象授業： 全授業

定員状況：全授業

## 学生の確保の見通し等を記載した書類（目次）

1. 収容定員を増加する組織の概要 .....	2
① 収容定員を増加する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地） .....	2
② 収容定員を増加する組織の特色 .....	2
2. 人材需要の社会的な動向等 .....	2
3. 学生確保の見通し .....	7
4. 収容定員を増加する組織の定員設定の理由 .....	15
別紙 1 .....	16
別紙 2 .....	17
別紙 3 .....	18

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 収容定員を増加する組織の概要

#### ① 収容定員を増加する組織の概要(名称, 入学定員, 収容定員, 所在地)

京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とする。具体的には医療施設等に従事する診療放射線技師の養成施設である。

収容定員を増加する組織	入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科	90	360	京都府南丹市園部町 小山東町今北1-3

#### ② 収容定員を増加する組織の特色

養成する人材像は次のとおりである。

京都医療科学大学の建学の精神により、以下のような能力を身につけ、かつ本学の学則に定める卒業に必要なすべての授業科目の単位を修得した者について、卒業を認定し学位を授与する。

- ・品性を陶冶し、チーム医療の一員としてコミュニケーション能力と幅広い一般教養を兼ね備えている。
- ・医療技術に関する専門的知識 及び 基礎となる知識を十分に修得している。
- ・思考力、理解力を有し日々進歩する技術に自ら対応できる能力を備えている。
- ・医療技術で地域社会・グローバル社会に貢献するとともに、国民の保健医療の向上に寄与し、人類の健康への願いを実現する強い意欲を持っている。

本学は以上のようなディプロマポリシーに基づき、診療放射線技師学校養成所指定規則に則った教育を実施し、診療放射線技師を育成する施設である。

### (2) 人材需要の社会的な動向等

#### ① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的, 地域的, 社会的動向の分析

##### 1) 病院在籍者数と国家試験合格者数の割合(他の医療職との比較)

医療施設における診療放射線技師の需要は高く、いまだに就職求人件数が毎年の国家試験合格者数を上回っている状況である。厚生労働省の医療施設調査ホームページに

よると、令和4年度卒の国家試験合格者数は2,793名であり、令和2年の病院在籍者数は45,177名となっている。調査年度に若干のずれがあるものの、その割合は6.2%であり、医師の3.8%について、国家試験合格者数の割合が少ない。一方で、理学療法士の令和4年度卒の国家試験合格者数は10,096名に対して、病院在籍者数は84,459名となっており、割合は12.0%である。診療放射線技師は医療職種の中でも医師について供給が少ない状況と言え、本学は教育目的に従って、一人でも多くの優秀な診療放射線技師を社会に送り出すのが使命であると考えている。

種別	病院在籍者数(2020年) A	国家試験合格者数(2022年度卒) B	B / A
医師	243,064	9,222	3.80%
<b>診療放射線技師</b>	<b>45,177</b>	<b>2,793</b>	<b>6.20%</b>
臨床検査技師	55,169	3,829	6.90%
看護師	827,451	59,344	7.20%
臨床工学技士	22,653	2,096	9.30%
作業療法士	47,853	4,608	9.60%
言語聴覚士	16,799	1,945	11.20%
理学療法士	84,459	10,096	12.00%
薬剤師	50,990	9,607	18.80%
歯科医師	10,351	1,969	19.00%

(厚生労働省 医療施設調査ホームページより)

## 2) 診療放射線技師の給与状況

このような状況を反映して、診療放射線技師は給与についても、他の医療職種と比べて高い。人事院統計情報「令和元年民間給与の実態」によると、医師を除く他の医療技術職との比較において、診療放射線技師の平均給与月額は、40歳以上退職までの年齢において、最も高い給与となっている。

## ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

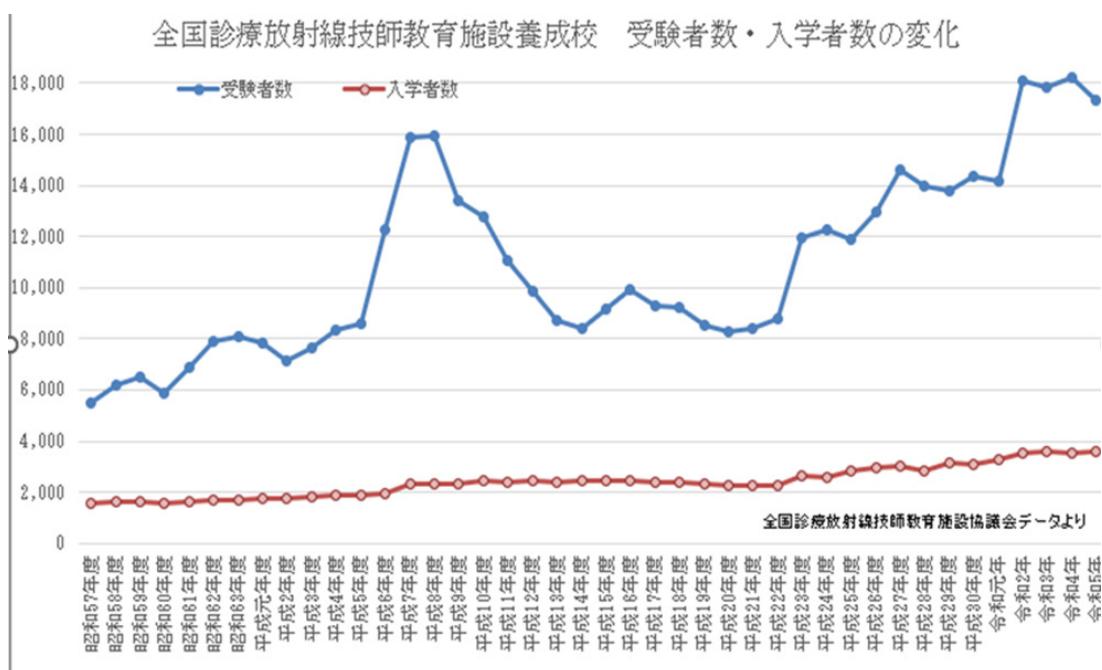
### 1) 診療放射線技師に関わる全国養成施設受験者数、入学者数の推移

本学が開学した平成19年度における全国養成施設受験者数は8,524名であったのに対して、令和4年度における受験者数は18,342名となり、2.15倍に増加している。これは、全国に診療放射線技師養成施設が増加したことが主な要因であるが、全国の養成施設入学者数は、平成19年度に2,339名であったのに対して、令和4年度の入学者数は3,606名となっており、その倍率は1.54倍に留まっている。このことは、診療放射線技師養成施設の定員以上に受験者が増えたことを意味している。診療放射線技術は、新たな診断方法

の発見や新たな医療機器の開発により、その活躍範囲が広がり、業務が拡大してきた歴史がある。

当初、X線診断装置から始まった分野ではあるが、いまではCT装置、MRI装置、超音波診断装置、核医学診断装置など、様々な診断モダリティが業務対象となり、さらに医療情報システムなど医療施設の業務効率化に欠かせない各種の情報モダリティも診療放射線技師の対象業務となっている。

今後も、医療技術の発展とともに、このような傾向が続き、業務拡大に呼応した形で、教育需要、就職需要も拡大していくものと予想される。



## 2) 医療技術の進歩、人口の高齢化に伴う、診療放射線技師の需要増加

医療技術の進歩や人口の高齢化に伴い、診療放射線技師の需要が増加している。診療放射線技師は、診断や治療の際に必要な画像診断技術や放射線治療技術を提供する役割を担っており、医療現場で重要な存在である。需要の増加により、多くの学生が診療放射線技師の養成を希望すると思われる。診療放射線技師は、放射線装置の操作や画像解析、患者の状態評価など、高度な技術と知識を必要とする職業である。このような専門的なスキルを身につけ国家資格を得るために、診療放射線技師養成施設での教育が不可欠である。自身の専門性を高め、社会で活躍することが出来る診療放射線技師養成施設への入学希望は、さらに増加すると思われる。

### 3) 高い就職・キャリアの見込み

診療放射線技師は、医療現場で専門知識とスキルを活かす職業である。そのため、就職やキャリアの見込みが高いとされている。診療放射線技師の養成施設に入学することで、将来的に安定した雇用やキャリアの成長が期待できるため、今後多くの学生が養成施設に進学を希望すると思われる。医療分野における人材不足の影響や需要増加により、診療放射線技師の給与水準も高い水準を保っている。経済的な面での魅力が高いため、養成施設への入学志願者数が、引き続き増加する可能性がある。医療分野では常に新たな技術や治療法が開発されている。診療放射線技師としてのキャリアを築くことで、最新の技術や研究への関与や貢献が期待できる。多くの学生が自身の興味や関心に合致する診療放射線技師の養成施設に進学を希望する可能性が高い。

### 4) 社会的な認知度の向上

近年、放射線技術や医療の重要性に対する社会の認識が高まっている。放射線技師の役割や貢献がメディアを通じて広く知られるようになり、その職業への関心も高まっている。これにより、診療放射線技師の養成施設への入学志願者数が、引き続き増加する可能性がある。診療放射線技師は、医療現場で患者の診断や治療に必要な画像情報を提供し、医療チームの一員として重要な役割を果たす。医療の向上や患者の健康をサポートする専門家としての社会的貢献が期待されるため、多くの学生がこのような貢献意識を持ち、この分野での根強い人気につながる可能性が高い。

### ③ 収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

全国の診療放射線技師養成施設が増加するにつれ、本学においても地元からの入学生の割合が増えている。【資料1】特に下宿をしないで済む通学圏となる、京都府南部、滋賀県、大阪府北部の入学生の割合が大きい。これらの地域においても診療放射線技師に関する教育需要や、医療施設の求人需要は大きいが、一方で、本学は京都府および滋賀県で唯一の診療放射線技師養成施設である。長い歴史の中で培った評価、実績により、これらの地域における診療放射線技師教育を一手に引き受けており、学生確保における固い基盤となっている。収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況を【資料1】に示す。

### 関西圏における診療放射線技師養成施設

学校名(学部・学科)	学科・専攻名	指定	区分	所在地
京都医療科学大学 医療科学部	放射線技術学科	文部科学大臣	私立	京都府南丹市
大阪大学 医学部保健学科	放射線技術科学専攻	文部科学大臣	国立	大阪府吹田市
大阪物療大学 保健医療学部	診療放射線技術学科	文部科学大臣	私立	大阪府堺市
森ノ宮医療大学 保健医療学部	診療放射線学科	文部科学大臣	私立	大阪府大阪市
神戸常盤大学 保健科学部	診療放射線学科	文部科学大臣	私立	兵庫県神戸市
大阪行岡医療専門学校 長柄校	放射線科	厚生労働大臣	私立	大阪府大阪市
大阪ハイテクノロジー専門学校	診療放射線技師学科	厚生労働大臣	私立	大阪府大阪市
清恵会第二医療専門学院	放射線技師科	厚生労働大臣	私立	大阪府堺市
神戸総合医療専門学校	診療放射線科	厚生労働大臣	私立	兵庫県神戸市

#### 【添付データ】

- ・収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況(別紙1)

#### ④既設組織の定員充足の状況

本学は平成19年の大学開学以来、教育内容の充実、施設・設備の整備など、優れた診療放射線技師を輩出するという社会的使命を果たすために教職員が総力を挙げて取り組んできた。また、本学の知名度向上、ブランディングを目指して広報を強化するとともに総合入試を始めとした入試改革も進めてきた。その結果、入学志願者数も順調に伸びしてきた。

平成19年当時の18歳人口1,224千人は令和4年には1,094千人に減少している。一方で、診療放射線技師養成施設は、平成19年の39校から令和4年には54校に増加している。このような状況にも関わらず、本学の入学志願者数は約25%増加しており、入試倍率(志願者倍

率)は全ての入学試験において常に3~5倍を維持している。過去からの推移と、診療放射線技師養成に対する社会的要請の強まり、業務拡大等による人員不足を勘案すると、今後も安定的に学生の確保は可能であると予想される。

#### 【添付データ】

- ・既設学科等の入学定員の充足状況(直近5年間)(別紙2)

### (3) 学生確保の見通し

#### ① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア 既設組織における取組とその目標

###### 1) 高等学校訪問の取り組み

本学では、毎年6月~8月の志望大学決定時期に合わせて、教職員OB、現役教職員を動員して高校訪問を行っている。【資料4】過去の志願者数、入学者数、卒業生の就職先等を募集広報管理システムにより一元管理し、高校別にランク分けした上で、優先的に訪問する高校を決定している。このシステムにより、過去の訪問時の状況も容易に検索表示できるようになっている。

訪問に際しては、出来るだけ毎年同じ教職員が訪問するように配慮し、高校の進路指導教員との人的パイプの構築にも力を入れている。本学の過去の経験から、オープンキャンパスに参加した高校生の受験率は極めて高いので、高校訪問に際しては、まずオープンキャンパスに参加してもらえるよう説明を行っている。

診療放射線技師を養成する放射線技術学科は、看護学科や理学療法学科と比べて、医療系職種の中でも未だ認知度の低い学科である。高校訪問は、高校生たちに対して大学の理解を促進する機会となる。教職員が自身の専門分野や大学での学びについて説明することで、高校の進路指導教員を通じて高校生たちは大学教育の内容や特徴をより具体的に理解することができる。

#### 【添付データ】

- ・既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績(別紙3)

###### 2) オープンキャンパスの取り組み

本学では、年10回のオープンキャンパスを実施し、教職員全員で取り組んでいる。特に診療放射線技師の魅力を伝えることに重点を置き、毎回本学卒業生が参加して仕事の魅力を紹介している。卒業後の自己の姿をイメージできるため参加者にも好評である。【資料2】

さらに志望大学を決定する時期である7月、8月には多数の本学卒業生が来訪し、実際の

現場における経験をもとに医療装置をつかった説明を行い、本学の特徴や魅力を具体的に伝える内容となっている。【資料3】

### 3) 奨学金創設等の取り組み

本学では、株式会社島津製作所からの支援により大学創立90周年の記念事業として、返還不要の給付金奨学金制度「島津奨学金」を創設した。当初は、島津製作所からの毎年の寄付金を原資としていたが、令和4年度からは、島津製作所からの株式寄付を第3号基本金として組み入れ、株式配当金を原資とする「島津基金」として運用を行っている。特待新入生奨学金、特待生奨学金、資格取得奨励奨学金、経済支援奨学金、学外活動奨学金などの種類があるが、中でも特待新入生奨学金は、授業料の全額または半額が免除となり、入学志願者増加につながる本学の魅力となっている。

資格取得奨励奨学金は学生の学修意欲を向上させ、難関の第1種放射線取扱主任者試験に毎年10名以上の合格者を出している。すなわち奨学金制度の本来の目的である教育の機会均等、優秀な学生の発掘と育成等の社会的貢献のみならず、本学への入学志願者の募集力向上にも大きく寄与している。【資料6】

奨学金を提供することで、優秀な学生が本学に進学しやすくなり、大学ブランディング強化、教育レベルの向上が期待できる。さらに、大学の魅力を高めることにより、学生のみならず優秀な教員を引きつける役割も果たしており教育品質の向上や研究力の強化にもつながっている。【資料7】

## イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

### 1) 広報活動の強化

18歳人口の減少が続く中で、国家資格を必要とする資格系職種である医療職への受験生需要は堅調である。さらに患者を救うという社会貢献が魅力となり、今後も受験生需要は他の分野よりも安定した傾向が続くと思われる。一方で、医療職の中では、看護や理学療法と比較して、診療放射線技師は受験生に対する認知度がまだ低いため広報的な努力は欠かせない。幸いにして、ドラマや映画の影響もあり、少しずつ認知度が上がりつつあるが、本学としても、オープンキャンパス等に積極的に取り組み、学生確保に向けた努力を続けている。

### 2) 国際交流の強化

社会がますますグローバル化する中で、本学では国際交流を重要な施策の柱として進めている。国際交流は異なる文化や価値観を理解し、尊重する機会を提供する。異な

る背景を持つ人々との交流を通じて、自身の視野を広げることができるので、医療職を目指す本学の学生には特に重要である。同時に、国際交流は外国語(特に英語)の習得に大きく寄与する。交流によって、実践的な言語能力を向上させることができる。実際に就職先の医療機関では、インバウンドによる訪日客の受診など、英語を使う機会が増えており、社会的な要請ともいえる。本学では、ベトナム、台湾等との国際交流に力を入れており、費用の半分を大学で補助するなど、積極的な参加を促している。ベトナムについては、ホーチミンにあるベトナム3大病院の一つであるチョーライ病院との交流を長年続けているが、令和元年には、フエ医科大学と学術協定を締結し、令和5年度からベトナム学生の受け入れを行う予定である。さらに、国内の18歳人口が減少する中で、将来的にはアジアからの留学生を入学志願者確保の施策として視野に入れている。

アジア各国の中では、日本の放射線医学、診療放射線技師教育のレベルは最も高く、日本への留学を希望する声も頻繁に聞かれる。今後、両国の高等教育機関、医療施設、医療機器メーカーの三者による提携により、日本が診療放射線分野におけるアジアの指導的立場となることを目指し、そのことが、本学の入学志願者確保につながるように、さらに国際交流を強化していく。

### 国際交流の実績

年度	台湾:元培医事科技大学			ベトナム:チョーライ病院/ フエ医科大学		
	引率 教員	参加 学生数	日程	引率 教員	参加 学生数	日程
平成28年度	1名	6	8/14(日)～8/20(土)	2名	3	8/17(水)～26(金)
平成29年度	1名	7	8/20(日)～8/26(土)	2名	8	8/17(木)～26(日)
平成30年度	2名	8	8/19(日)～8/26(日)	2名	14	8/16(木)～26(日)
令和元年度	3名	26	8/18(日)～8/24(土)	2名	16	8/15(木)～25(日)
令和4年度	中止			4名	12	3/12(日)～23(木)

※令和2年度、令和3年度 コロナにより中止

### 3)就職先訪問の強化

学生が就職した就職先に対しては、卒業後間もない時期に、教職員OB、現役教職員を動員して、お礼のために、訪問を行っている。教職員が学生の就職先を訪問することにより、その医療機関や企業の情報を学生に直接的に提供することができる。学生は実際に訪問した教

職員から、病院や企業の雰囲気、仕事内容などを聞き、より具体的な情報を得ることができる。さらに、学生に対して実践的なキャリア指導を行うことができる。同時に学生のモチベーションを向上させる効果もある。教職員は就職先との関係を築き、学生にとって有益なつながりを作り出すことができ、これにより、学生は就職後のサポートやキャリアの可能性を広げることができ。開学以来、就職率 100%は本学の大きな強みであり、これらの取り組みをさらに強化していく。【資料5】

#### ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での入学者の見込み数

前述した、高校学校訪問、オープンキャンパス等の取り組みに加えて、さらに国際交流の強化、就職先訪問の強化等の取り組みを実施することにより、従来の実績である入学者数 90 名は問題なく今後も維持できると見込んでいる。

#### ②競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

##### ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性

本学は診療放射線技師の養成学校であり、関西で競合する 4 年制の大学は、森ノ宮医療大学(大阪府大阪市)、大阪物療大学(大阪府堺市)、神戸常盤大学(兵庫県神戸市)の 3 校となる。診療放射線技師養成学校には専門学校もあるが、教育内容も異なり、ほとんど競合することは無い。

競合校には無い本学の優位性、特徴は下記のとおりであり、この優位性を生かすことにより、十分に入学志願者の確保は可能であると考えている。

##### 1)就職に関する優位性

本学には、学友会という卒業生組織があり、極めて強いネットワークとなっている。卒業生は全国の約 1,000 の医療機関で現役として従事しており、卒業生同士、卒業生と大学とのネットワークが、就職に強いという本学の強みにつながっている。その結果、開学以来就職率は 100%を維持しており、過去 5 年間求人状況を見て分かるように、求人倍率は毎年 10 倍を超えており、就職に強いという本学の優位性は長い歴史によるものであり、新設大学では難しいものであると考えている。

##### 5 年間の求人状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
求人(件数)	521	580	454	507	450
求人(人數)	1,012	1,172	890	972	985

## 2)最新の医療機器の導入

本学では、大学・国公立病院にも引けを取らない最新の医療機器、設備が設置され、学内における実験実習、総合研究(卒業研究)に活用されている。高額医療機器の多くは、本学を創設した株式会社島津製作所の寄付によるものである。MRI 装置、マルチスライス CT 装置、核医学診断装置などの、いわゆる高額医療機器のみならず、X線透視撮影装置、一般撮影装置、超音波診断装置などについても、大学病院等に導入されている最上級ランクの装置を具備している。

また本学では、女子学生の増加に対応して、女性診療放射線技師の重要な業務である乳房撮影に関しても教育内容の充実を図っている。乳房撮影に使用されるマンモグラフィ装置については、最新のデジタルトモシンセシス(断層機能)撮影にも対応したデジタルマンモグラフ装置を導入している。診療放射線技師養成施設として最高水準に達する医療機器の導入は、学生教育の充実のみならず、本学の大きな魅力となり、学生募集力の強化に貢献している。

今後も、本学は高い教育水準を維持するために最新の教育プログラムや実習プログラムを提供し、学生の専門的な成長を支援していくと同時に、学内には常に最新の医療装置を整備し、学生が実践的なトレーニングを受けることができるよう努力する。これらの教育環境や設備の充実は、入学志願者数の増加につながる要素となる可能性が高い。【資料8】

### イ 競合校の入学志願動向等

診療放射線技師養成施設を含む保健系の学部系統に対する入学志願状況は、日本私立学校振興・共済事業団「令和4(2022)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の資料から高い水準で推移している。保健系学部は、医療福祉への貢献、国家資格系であるため職業安定性が高い等の理由から、一般的に学生が高い関心を持っている分野であり、今後もこの傾向は継続するものと予想される。また、全国の保健系学部の志願倍率は5倍程度で推移しているが、本学の志願倍率も5倍程度であり、全国の動向と比較しても遜色がないと判断される。さらに競合校となる近隣の診療放射線技師養成校の志願倍率との比較においても、本学の志願倍率は高い水準を保持している。

#### 5年間の保健系学部の志願倍率と入学定員充足率

出典:日本私立学校振興・共済事業団「令和4(2022)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より

年度	志願倍率	入学定員充足率
平成30年度	5.26	100.81
令和元年度	5.38	101.34
令和2年度	4.93	99.97
令和3年度	4.66	99.28
令和4年度	4.22	96.79

令和4年度入学生 近隣の診療放射線技師養成校(私立大学)入試結果

学校名	学部学科名	入試方式	定員	志願者数	志願倍率
京都医療科学大学	医療科学部 放射線技術学科	総合型選抜	12	94	7.8
		推薦型選抜	40	119	3.0
		一般選抜	28	151	5.4
		合計	80	364	4.6
学校名	学部学科名	入試方式	定員	志願者数	志願倍率
森ノ宮医療大学 (※同時判定入試、学内併願入試)	医療技術学部 診療放射線学科	総合型選抜	43	710	16.5
		一般選抜	33	507	15.4
		共通テスト利用	4	17	4.3
		合計	80	1234	15.4
学校名	学部学科名	入試方式	定員	志願者数	志願倍率
大阪物療大学	保健医療学部 診療放射線学科	推薦型選抜	40	77	1.9
		一般選抜	40	73	1.8
		合計	80	150	1.9
学校名	学部学科名	入試方式	定員	志願者数	志願倍率
神戸常盤大学	保健科学部 診療放射線学科	総合型選抜	14	59	4.2
		推薦型選抜	18	116	6.4
		一般選抜	35	144	4.1
		共通テスト利用	8	20	2.5
		合計	75	339	4.5

ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等(競合校定員未充足の場合のみ)

○ 本学、競合校ともに定員は充足している。

## エ 学生納付金等の金額設定の理由

本学の学生納付金は、入学金、授業料、実験実習料、施設整備費など全てを合計して、1年次 1,820,000 円、2年次以降 1,600,000 円となっている。この設定金額は、私立大学の診療放射線技術学科における標準的なものであり、競合校と比較しても妥当な設定であるため、一般的に受け入れられるものと考えられる。

### 本学の学生納付金

(単位:円)

学費	1年次		2年次以降	
	入学時	後期	前期	後期
入学金	250,000	—	—	—
授業料	450,000	450,000	450,000	450,000
実験実習料	145,000	175,000	175,000	175,000
施設整備費	175,000	175,000	175,000	175,000
計	1,020,000	800,000	800,000	800,000
総合計(年間)	1,820,000		1,600,000	

### 本学と近隣の診療放射線技師養成校授業料(私立大学)

(単位:円)

学校名	地域	項目	金額
京都医療科学大学	京都府 南丹市	初年次納入金	1,820,000
		2年次以降授業料	1,600,000
		総合計	6,620,000
森ノ宮医療大学	大阪府 大阪市	初年次納入金	1,800,000
		2年次以降授業料	1,640,000
		総合計	6,720,000
大阪物療大学	大阪府 堺市	初年次納入金	1,525,000
		2年次以降授業料	1,500,000
		総合計	6,185,000
神戸常盤大学	兵庫県 神戸市	初年次納入金	1,625,000
		2年次以降授業料	1,500,000
		総合計	6,125,000

令和5年3月調べ

### ③先行事例分析

○ 該当なし。

### ④学生確保に関するアンケート調査

過去の入学実績等の数値に基づき、変更後の入学定員の妥当性は説明可能と判断し、アンケート調査は行っていない。

### ⑤人材需要に関するアンケート調査等

#### 1) 医師のタスクシフトに関わる業務拡大と人材需要の増大

医師の働き方改革、各医療関係職種の専門性の活用等を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や、地域医療構想の実現に向けた医療機関の取り組みに対する支援の強化等の措置を講ずることを目的として法律の改正が行われた。

各医療関係職種の専門性の活用の中に、タスクシフト／シェアを推進し医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を生かせるよう各職種の業務範囲の拡大を行うこととされ、診療放射線技師法の改正も含まれている。法律案が成立したことを受け、新たな診療放射線技師法は令和3年10月1日から施行されたが、診療放射線技師の新たな業務は下記に示す6つの業務である。中でも、静脈路の確保は、従来は医師、看護師にしか認められていなかった重要な業務であり、これらの業務拡大のために、ますます診療放射線技師の社会的必要性が増し、人材需要が増加すると予想される。

- a. 造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- b. RI検査のためにRI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- c. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く)、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為
- d. 下部消化管検査(CTコロノグラフィ検査を含む)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
- e. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
- f. 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

## 2) 医療施設におけるDX対応に関わる診療放射線技師への期待

医療施設においてDX対応（デジタルトランスフォーメーション）は、効率的な医療プロセスの実現、患者中心のケアの向上、データ駆動の医療や予防医療の推進、リモートケアや遠隔診療の促進、医療データのセキュリティとプライバシーの確保、医療の連携とコラボレーションの促進など、多岐にわたるメリットがあり重要である。一方で、それを担う人材が不足しているのが現状である。医療施設において、診療放射線技師は、デジタル化された高度な医療機器を扱うことから、最もDX対応への貢献が期待されている医療職種である。診療放射線技師は、デジタル画像処理技術を活用して患者の画像データを取得し、診断や治療に必要な情報を提供する。

彼らは画像データの取得・処理・管理に熟練し、デジタル化された医療環境において高品質かつ効率的な画像データの提供を行うスキルを持っている。デジタル化された医療情報は、患者のプライバシーとデータのセキュリティが重要である。診療放射線技師は、適切なデータ保護対策を実施し、個人情報の安全性と患者のプライバシーを確保する役割を常日頃から果たしている。

AI（人工知能）技術の進展により、画像解析の分野でも新たな可能性が広がっている。診療放射線技師が扱う医療機器においても、AI技術の活用が盛んに行われており、AI技術を活用して画像の自動分析や異常検出を行い、医師による診断のサポートを提供している。AI技術を適切に活用することで、効率的な診療プロセスや正確な診断の向上が期待されている。

診療放射線技師養成施設においては、医療画像情報学を始めとしたDXにつながる専門科目の教育を行っている。医療施設全体の情報を統合的に管理するための医療情報システムや医療画像の保存、管理、送信を行うためのPACSシステムに診療放射線技師は関わっており、医療施設における診療放射線技師に期待される業務は、ますます増大する傾向にあり、今後も需要が高まっていくものと予想される。その結果、入学志願者数も増加していくものと予想される。

## （4）収容定員を増加する組織の定員設定の理由

前述したとおり、診療放射線技師養成への社会的ニーズは強く、今後も高い水準で志願倍率や入学定員充足率が安定的に確保できると予想される。関西圏における診療放射線技師養成施設の設置状況や本学の入学志願者数を踏まえた結果、高度医療技術者育成への医療社会からの要請に対応し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を一人でも多く育成するという使命を果たすために、定員設定の見直しが適切と考える。

なお、本学が過去より既に90名前後の入学者を受け入れてきたという実態を鑑み、定員を90名と設定することが適切であると判断した。

## 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

### ○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	京都府	40人	44. 0%
2	滋賀県	22人	24. 2%
3	兵庫県	6人	6. 6%
4	大阪府	5人	5. 5%
5	福井県	3人	3. 3%
	全 体	91人	100. 0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

### ○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	京都府	98. 88%	101. 59%	99. 93%
2				

※2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

### ○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	保健系学部（大学）	99. 97%	99. 28%	96. 79%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2

大学学部学科等名：

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H30年度入試	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	平均
総合型選抜	募集人数				12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数			114人	94人	104人
		受験者数			114人	93人	104人
		合格者数			20人	20人	20人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人
	実人数	志願者数			114人	94人	104人
		受験者数			114人	93人	104人
		合格者数			20人	20人	20人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人
	入学者数				0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	35人	35人	40人	40人	40人	38人
	延べ人数	志願者数	94人	110人	198人	174人	119人
		受験者数	94人	109人	198人	171人	112人
		合格者数	44人	50人	77人	65人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	11人	7人	5人
	実人数	志願者数	94人	110人	198人	174人	119人
		受験者数	94人	109人	198人	171人	112人
		合格者数	44人	50人	77人	65人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	44人	50人	66人	58人	57人	55人
一般選抜	募集人数	42人	42人	40人	28人	28人	36人
	延べ人数	志願者数	180人	158人	269人	180人	151人
		受験者数	171人	150人	233人	138人	132人
		合格者数	81人	72人	44人	32人	37人
		うち追加合格者数	13人	5人	0人	1人	0人
		辞退者数	29人	32人	15人	20人	13人
	実人数	志願者数	180人	158人	269人	180人	151人
		受験者数	171人	150人	233人	138人	132人
		合格者数	81人	72人	44人	32人	37人
		うち追加合格者数	13人	5人	0人	1人	0人
	入学者数	29人	32人	15人	20人	13人	22人
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数	志願者数					
		受験者数					
		合格者数					
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	実人数	志願者数					
		受験者数					
		合格者数					
		うち追加合格者数					
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	3人	3人	0人	0人	0人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	274人	269人	468人	468人	364人
		受験者数	265人	260人	432人	423人	337人
		合格者数	125人	122人	121人	117人	119人
		うち追加合格者数	13人	5人	0人	1人	0人
		辞退者数	29人	32人	26人	27人	18人
	実人数	志願者数	274人	269人	468人	468人	364人
		受験者数	265人	260人	432人	423人	337人
		合格者数	125人	122人	121人	117人	119人
		うち追加合格者数	13人	5人	0人	1人	0人
	入学者数	29人	32人	26人	27人	18人	26人

3. 入学定員充足率

	H30年度入試	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.20	1.13	1.19	1.13	1.26	1.18
歩留率	0.70	0.71	0.79	0.76	0.85	0.76

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

総合型選抜入試、R3年度入試から開始。R2年度入試から、学校推薦型選抜入試に併願を追加。

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

### ①募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパス

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	984人	567人	①取組概要：受験希望者を対象として、アドミッションポリシーを含む本学での学び、卒業生による診療放射線技師の仕事紹介、入試概要、就職状況、在学生による本学紹介や相談会、施設案内などを実施した。 R3年度：計10回開催(3/19, 5/29, 6/19, 7/9, 7/10, 8/6, 8/7, 8/27, 10/2, 12/17)、R4年度：計10回開催(3/20, 5/9, 6/6, 6/27, 7/17, 8/8, 8/21, 9/18, 10/30, 12/18)※コロナにより一部動画配信など変則的な対応あり
うち受験対象者数(b)	187人	251人	
うち受験者数(c)	124人	175人	
うち入学者数(d)	80人	78人	
(受験率 c/b)	66.31%	69.72%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスは本学の入学志願者確保にとって、最も重要なイベントである。参加者の満足度は高く、イベント参加者の出願率は高い。本取組を継続的に行うことでの入学者の獲得はできると見込んでいる。
(入学率 d/b)	42.78%	31.08%	

### ②募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要
うち受験対象者数(b)			②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

### ③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要
うち受験対象者数(b)			②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

### ④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要
うち受験対象者数(b)			②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

### ⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要
うち受験対象者数(b)			②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

## 学生の確保の見通し（資料）（目次）

1. 資料 1 新入生出身地(入学年度別) .....	2
2. 資料 2 オープンキャンパスパンフレット .....	3
3. 資料 3 2023年度 オープンキャンパス&入試対策講座：年間計画表 .....	4
4. 資料 4 高校訪問実績.....	5
5. 資料 5 2022年度 就職先(大学院含む)一覧 .....	6
6. 資料 6 資格支援：放射線取扱主任者試験 .....	7
7. 資料 7 奨学金 .....	8
8. 資料 8 主な実験室と装置 .....	9

## 【資料1】

## 新入生出身地(入学年度別)

	2020年度入学 現4年生	2021年度入学 現3年生	2022年度入学 現2年生	2023年度入学 現1年生
北海道		1		
青森				
宮城				
岩手				
秋田				
新潟			1	
山形				
埼玉		1		
山梨				1
群馬				
茨城				
東京都				
神奈川				1
千葉			1	
栃木			1	
長野	1	1		
静岡	1	3	2	
福井	3	3	1	3
富山	3		1	1
石川	2	1	1	2
愛知	1	1	1	1
岐阜	1		1	1
三重	1			
京都	36	42	38	40
大阪	12	7	16	5
滋賀	17	19	21	22
兵庫	3	4	4	6
奈良	1	0	3	1
和歌山	1	2	2	
島根	1			1
鳥取				
広島	3	1	1	1
岡山	1			2
山口				1
高知	1			
香川				
愛媛	2		3	
徳島		1	1	
福岡			1	
長崎	1	1		1
熊本	1			1
大分		1		
宮崎	1			
佐賀				
鹿児島				
沖縄	1	1	1	
総計	95	90	101	91

# OPEN CAMPUS



病の第一発見者「診療放射線技師」をめざす



## 完全予約制

予約は開催日の3週間前  
から受け付けます。

参加予約は  
コチラから



## オープンキャンパス ① 12:05-15:00

診療放射線技師のミリョク紹介 在学生による学内案内 個別相談 大学の学び紹介(大学紹介) 在学生との交流 入試ガイダンス

5.28.日 6.18.日 7.8.土 9.日 8.5.土 6.日

7月以降から最新生募集要項配布予定!

8.26.土 10.1.日 12.16.土

入試対策講座 保護者対象説明



Let's go!

京都医療科学大学  
Kyoto College of Medical Science

# OPEN CAMPUS

京都医療科学大学では、さまざまなイベントを毎回開催しています。  
オープンキャンパスに参加して、大学での学びのイメージを広げてください!

## PROGRAM

※開催は本学サイトをチェックしてください。



オープンキャンパスを効率良く参加するには

### 3つのSTEP

#### STEP 1

### 診療放射線技師 について詳しく知ろう!

5.28.日 6.18.日

卒業生による「診療放射線技師のミリョク」紹介など、医療で働くイメージをつかもう!

#### STEP 2

### 京都医療科学大学 の特徴や魅力を知ろう!

7.8.土 9.日 8.5.土 6.日

いよいよ夏のオープンキャンパスシリーズ!卒業生ネットワークをご紹介したり、  
教員や学生スタッフによる本学のミリョクを伝える内容になっています。

受験生に役立つコンテンツの準備しています。

#### STEP 3

### 入試対策イベント で合格のヒントをゲットしよう!

8.26.土 10.1.日 12.16.土

受験対策の講義や開催大手予修校講師による過去問対策です!  
保護者の方もご参加ください!

受験を考えている人は必ず参加してね。

#### 先輩たちのアンケートを見てみよう!

## OPEN CAMPUS DATA

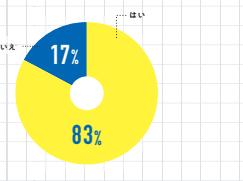
Q1 入学までに京都医療科学大学の  
オープンキャンパスに参加しましたか?



いいえ

はい

Q2 他学と、どんなところを比較して  
入学を決めましたか?



先輩の多くがオープンキャンパスに参加して  
入学を決めています。そこで、リポートが参考も  
たくさん!向むけで新しい発見があつまっ  
てます!ぜひ参考してみてください。

先輩の声

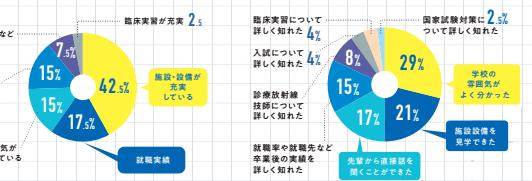
先輩の声

先輩の声

先輩の声

京都医療科学大学に入学している先輩たちは、オープンキャンパスで直接学内施設を見て  
在学生スタッフや先生方の雰囲気に入り易く感じて、志望校を決定していることが分かります!

Q3 オープンキャンパスに  
参加してよかったところは?



先輩の多くがオープンキャンパスで直接学内施設を見て  
在学生スタッフや先生方の雰囲気に入り易く感じて、志望校を決定していることが分かります!

入試専用公式アカウント



京都医療科学大学受験生ナビサイト



診療放射線技師への近道

パンチは  
コチラ

<https://www.kyoto-msc.jp/admission/>



# 【資料3】2023年度 オープンキャンパス＆入試対策講座：年間計画表

2023年3月更新

開催日程	第1回 3月18日(土)	第2回 5月28日(日)	第3回 6月18日(日)	第4回 7月8日(土)	第5回 7月9日(日)	第6回 8月5日(土)	第7回 8月6日(日)	第8回 8月26日(土)	第9回 10月1日(日)	第10回 12月16日(土)						
対象	全学年を対象								1.2年限定オープンキャンパス 3年生向け(受験生対象)入試対策講座							
目標	診療放射線技師を目指すなら京都医療科学大学だと 思ってもらう			本学の特徴(学友会・就職・装置)や魅力をより深く知り、志望校に決めてもらう					1, 2年生の募集(特に2年生)を強化する/体験型 受験生対象に入試対策講座を行う							
対象入試	総合入試								総合入試対策 :代ゼミ	総合・推薦入試対 策:代ゼミ	一般入試対策 :代ゼミ					
本学の卒業生：本学で学んだ経験や、診療放射線技師になって良かったと思うことやお仕事の魅力を伝える																
2022年 卒業生 実績	滋賀県立総合病院 '17年卒業生	大阪医科薬科大学病院 '16年卒業生 '19年卒業生	市立福知山市民病院 '16年卒業生	神戸赤十字病院 '03年卒業生	京都府立医科大学附属 病院 '19年卒業生	神戸赤十字病院 '03年卒業生	関西医科大学香里病院 '16年卒業生	神戸大学医学部附属病 院 '16年卒業生	野崎徳洲会病院 '20年卒業生	京都桂病院 '20年卒業生 '21年卒業生						
2023年 卒業生 予定	野崎徳洲会病院 '20年卒業生	大阪医科薬科大学病院 '19年卒業生 '21年卒業生	神戸赤十字病院 '03年卒業生	滋賀医科大学付属病院	京都第一赤十字 '12年卒業生	滋賀医科大学付属病院	関西医科大学香里病院 '16年卒業生	京都府立医科大学附属 病院 '19年卒業生	未定	京都桂病院 '20年卒業生 '21年卒業生						
本学紹介	本学教員による 本学の教育内容の紹介															
	堀井先生	霜村先生	水田先生	学長先生	江本先生	大野先生	柴田先生	松本先生	学長先生	松尾先生						
入試ガイ ダンス・ 学校紹 介・保護 者向け	入試ガイダンス															
	鈴木局長	鈴木局長	鈴木局長	鈴木局長	森課長	鈴木局長	森課長	佐藤先生	佐藤先生	佐藤先生						
	2023年度結果報告(2024年度入試情報速報)															
	2024年度入試概要説明															
プログラム概要	2024年度入試概要、出願方法、入試結果速報、キャリア・学生支援など															
学内施設・実験室	在学生による学内施設案内＆学生交流			学友会協力 滋賀支部	本学の技師系教員 赤澤先生 松本先生 石田先生	学友会協力 滋賀支部	本学の技師系教員 遠山先生 霜村先生 本谷先生	実験室体験型 X線実験室エリアとMRI室の2か所に分かれ、実験装置の操作体験や、患者の体験する								
	在学生が、少人数(1対1に近い形)で学生目線で本学での学びや学生生活についてお話をし、学内施設案内(実験装置)を紹介する			在学生による学生交流				在学生による学生交流 在学生が、少人数(1対1に近い形)で学生目線で本学での学びや学生生活についてお話をする								
	本谷先生	水田先生	桑原先生	赤澤先生	—	松尾先生	—	遠山先生	桑原先生	石田先生/遠山先生						
	実験装置立ち上げ等			一般撮影、CT、MRI、マンモ				実験装置立ち上げ等								
全体/進行等	大野先生	大野先生	大野先生	大野先生	大野先生	大野先生	大野先生	大野先生/佐藤先生	大野先生/佐藤先生	大野先生/佐藤先生						
動画配信				参加者特典：青野先生：志望理由書の書き方講座 + 代ゼミ(面接対策&夏休みの過ごし方)				後日:代ゼミ動画配信	後日:代ゼミ動画配信	後日:代ゼミ動画配信						
2022年度実績	3月19日(土)	5月29日(日)	6月19日(日)	7月9日(土)	7月10日(日)	8月6日(土)	8月7日(日)	8月27日(土)	10月2日(日)	12月17日(土)						
2022年度参加者数実績	高校生52 保護者38	高校生59 保護者51	高校生50 保護者36	高校生41 保護者33	高校生46 保護者36	高校生49 保護者37	高校生55 保護者37	高校生81 保護者46	高校生60 保護者33	高校生45 保護者23						
プログラム概要	全体を2班に分けて実施 (入替)	全体を2班に分けて実施 (入替)	全体を2班に分けて実施 (入替)	全体を2班に分けて実施(入替) 学友会サポート	全体を2班に分けて実施(入替)	全体を2班に分けて実施(入替) 学友会サポート	全体を2班に分けて実施(入替)	年内入試対策！基礎学力強化講座 (英語・数学)[代ゼミ]	総合直前！基礎学力強化講座 (英語・数学)[代ゼミ]	一般対策！基礎学力強化講座 (英語・数学)[代ゼミ]						
参加者特典	入試最新情報	志望理由書+入試ガイド配布		左記に追加して動画視聴：志望理由書の書き方講座(青野先生)・代ゼミ(面接対策&夏休みの過ごし方)				7月分に追加して最新の募集要項・過去問題集配布								
	入試結果速報+募集要項															

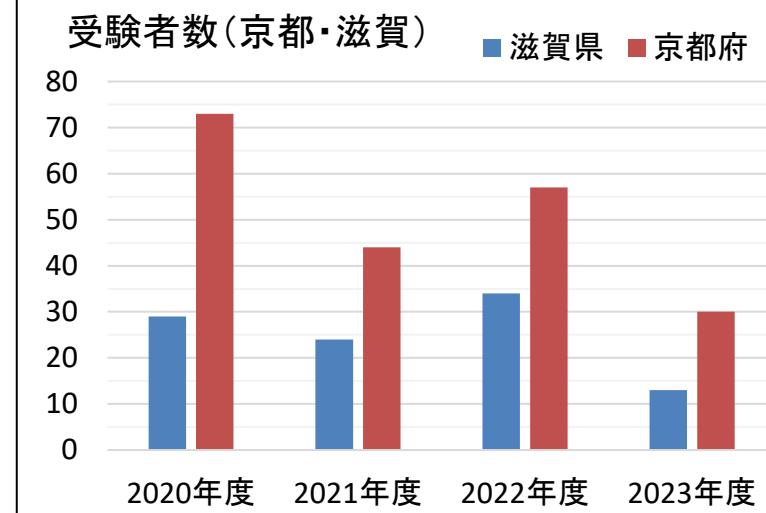
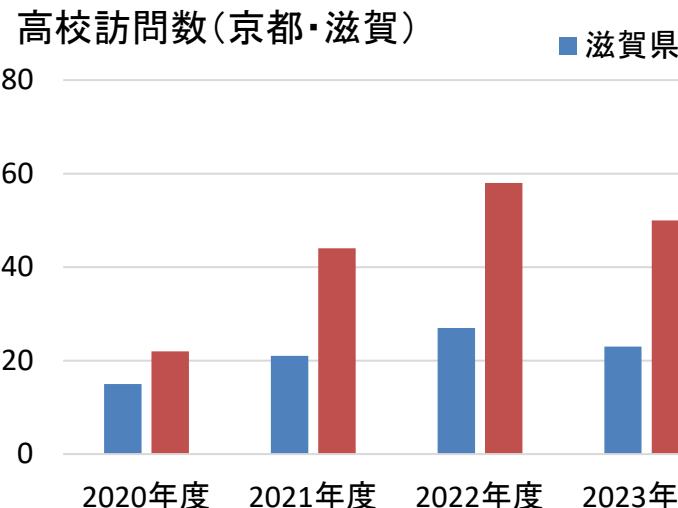
#### 【資料4】高校訪問実績

##### 高校訪問数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
滋賀県	15	21	27	23
京都府	22	44	58	50
合計	37	65	85	73

##### 受験者数(総合・推薦)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
滋賀県	29	24	34	13
京都府	73	44	57	30
合計	102	68	91	43



## 【資料5】2022年度 就職先(大学院含む)一覧

施設名	人数	地域	施設名	人数	地域	
自治医科大学附属病院	1	栃木県	JCHO大阪みなと中央病院	1	大阪府	
群馬大学大学院医学系研究科生命医学専攻	1	群馬県	一般財団法人関西労働保健協会 千里LC健診センター	1	大阪府	
公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター	1	千葉県	一般財団法人住友病院	1	大阪府	
メディカルエキスパート株式会社	1	東京都	医療法人新明会都島放射線科クリニック	1	大阪府	
メディカルスキャニング	2	東京都	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	1	大阪府	
医療法人厚生会 福井厚生病院	1	福井県	大阪大学大学院医学系研究科 生体物理工学講座 病態超音波医学研究室	1	大阪府	
社会医療法人 財団 中村病院	1	福井県	関西医科大学くずは病院	1	大阪府	
国立大学法人信州大学医学部附属病院	1	長野県	関西医科大学附属病院	2	大阪府	
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	1	岐阜県	関西電力病院	1	大阪府	
一般財団法人 近畿健康管理センター	3	滋賀県	近畿大学奈良病院	1	大阪府	
医療法人社団昂会 日野記念病院	1	滋賀県	国立循環器病研究センター	1	大阪府	
近江八幡市立総合医療センター	1	滋賀県	社会医療法人愛仁会 井上病院	1	大阪府	
滋賀医科大学医学部附属病院	1	滋賀県	社会医療法人愛仁会 高槻病院	1	大阪府	
社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院	3	滋賀県	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	1	大阪府	
市立長浜病院	1	滋賀県	社会医療法人弘道会守口生野記念病院	1	大阪府	
高島市民病院	1	滋賀県	社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院	2	大阪府	
日本赤十字社 長浜赤十字病院	1	滋賀県	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	2	大阪府	
市立長浜病院	1	滋賀県	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	1	大阪府	
医療法人 河端病院	1	京都府	医療法人ゆめはんな会 ヨリタ歯科クリニック	1	大阪府	
医療法人 徳洲会宇治徳洲会病院	1	京都府	医療法人 明和病院	1	兵庫県	
医療法人啓信会 京都きづ川病院	1	京都府	大室整形外科 脊椎・関節クリニック	1	兵庫県	
医療法人社団千春会千春会病院	1	京都府	関西労災病院	1	兵庫県	
医療法人創健会 西村診療所	1	京都府	神戸低侵襲がん医療センター	1	兵庫県	
医療法人同仁会(社団) 京都九条病院	1	京都府	公立豊岡病院組合立豊岡病院	1	兵庫県	
医療法人福富士会 京都ルネス病院	2	京都府	社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院	1	兵庫県	
株式会社 増田医科器械	1	京都府	日本赤十字社 神戸赤十字病院	1	兵庫県	
京都大学医学部附属病院	1	京都府	公益財団法人天理よろづ相談所病院	3	奈良県	
社会福祉法人恩賜財団京都済生会病院	2	京都府	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	1	奈良県	
社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院	1	京都府	医療法人健和会 奈良東病院	1	奈良県	
地方独立行政法人京都市立病院機構	1	京都府	国立大学法人鳥取大学医学部附属病院	1	鳥取県	
日本赤十字社 京都第一赤十字病院	1	京都府	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	1	島根県	
洛和会ヘルスケアシステム	1	京都府	医療法人社団曙会 シムラ病院	1	広島県	
一般財団法人 京都工場保健会京都工場保健会	1	京都府	医療法人社団一陽会 原田病院	1	広島県	
				愛媛大学医学部附属病院	1	愛媛県
				愛媛県厚生農業協同組合連合会愛媛県厚生連健診センター	1	愛媛県



# 第1種放射線取扱主任者試験

放射線治療装置、サイクロトロンの設置時に必要な免許

この試験を勉強することの意義

- ・診療放射線技師試験の試験対策
- ・合格すれば就職時に有利

## 資格取得サポートは万全

### 充実の支援体制！

#### [島津奨学金] 資格取得奨励奨学金

- 受験奨励金【放射線取扱主任者】：受験者 1 万円
- 合格報奨金【放射線取扱主任者試験合格者】：合格者 10 万円

第1種放射線取扱主任者試験  
2022年度合格者 **14人**  
※2021年度合格者 17人

▶参考  
放射線学科  
保有の大学  
(各大学HPより)

A大学（三重県）	2022年度公表無し 2021年度は13人
B大学（兵庫県）	2人
C大学（大阪府）	2人

## 【資料7】 奨学金



## 本学独自の奨学金返還不要の 給付型奨学金制度「島津奨学金」

▼こちらは2022年度の情報です

### 島津奨学金の種類

#### 特待新入生奨学金

一般入試(前期日程)の合格者の成績上位6名を対象

給金額 1~3位 **90万円** 授業料全額相当

給金額 4~6位 **45万円** 授業料半額相当

#### 特待生奨学金

2~4年次の各学年成績上位者9名 (合計27名)  
を対象

給金額 1位 **90万円** 授業料全額相当

給金額 2位 **45万円** 授業料半額相当

給金額 3位 **30万円** 授業料3分の1相当

給金額 4~6位 **20万円**

#### 資格取得奨励奨学金 合格報奨金 (1回)

放射線取扱主任者試験の合格者

給金額 **10万円**

#### 資格取得奨励奨学金 受験奨励金 (上限なし)

①放射線取扱主任者試験の受験者 給金額 **1万円**

②TOEIC試験の受験者 給金額 **2千円**

#### 経済支援奨学金

学力基準・家計基準を満たす学生を対象

給付額 **最高で40万円**

後期授業料の一部に充当して給付

#### 海外交流奨学金

海外研修の参加が認められ渡航先が決定している者を対象

給付額

海外研修渡航費用等の一部

※各奨学金には、それぞれ条件や人数、給付期間、学力基準などが設定されています。詳しくは本学担当窓口へお問い合わせください。

## 【資料8】主な実験室と装置

<p>【一般撮影実習室 6 室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般X線撮影装置 6 セット (天井走行管球・立位撮影台・平面撮影台)</li> <li>・FCR 装置 1 セット</li> <li>・レーザーイメージヤー装置 1 台</li> </ul>	<p>各実習室に天井走行管球・立位撮影台・平面撮影台セットを備え、頭部から足部まで全身の撮像ができる。</p> <p>内 2 室には最新のデジタル画像センサーを使った最高級システムで、管球は自動的にホームポジションに帰納され、受光部は DR タイプでカセットレス。カセットタイプの併用も可能である。広範囲撮像の長尺撮影機能を搭載している。4 室の受光部はカセットタイプで、FCR システムを使用。フィルムカセットも利用できる。画像出力はデジタルでモニターに出力する。レーザーイメージヤーあるいは自現機を用いてフィルム出力する。</p>
<p>【マンモグラフィー実習室 2 室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンモグラフィー装置 2 台</li> </ul>	<p>各実習室にマンモグラフィー装置を配置。1 台の受光部はカセットタイプで FCR を使用。他の 1 台は最新の FPD (フラットパネルディテクター) を使用している。FPD タイプは、トモシンセシス (断層) 撮影にも対応した最高級レベルの装置であり最新の撮影法に関する教育のみならず、研究にも使用できる。マンモグラフィーは実験時の撮影手技・ポジショニングが重要で、製造業者による装置の個性の違いも学習可能である。</p>
<p>【実験実習フロア】</p> <p>フラットパネル型ワイヤレス回診用 X 線撮影装置 2 台</p>	<p>ワイヤレスタイプのフラットパネルディテクターを搭載した最新装置を 2 式設置している。受光部に FCR カセットの併用可能。病棟回診や ICU で使用され、感染症パンデミックの際の撮影装置としても脚光を浴びている。走行安全装置がついており病院内を安全に走行するための運転走行訓練もおこなう。</p>
<p>【X 線 TV 透視室 1 室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能型 X 線 TV 装置 1 台</li> </ul>	<p>最新式多機能型 X 線 TV 装置を導入している。消化管や ERCP (逆行性胆管膵管造影) を始めとした多目的透視装置として使用される。本学の装置は FPD-DR タイプで豊富なアプリケーションを</p>

	<p>搭載し、透視に加え、トモシンセシスでデジタル断層撮影ができ、スロットスキャンで全身長尺撮影ができ、デュアルエナジーサブトラクションも可能である。</p>
【X線 CT 実習室 2 室】  • 16 列マルチスライスヘリカル CT1 台 • シングルヘリカル CT	<p>ヘリカル CT 2 台設置。</p> <p>1 台は 16 列マルチスライスヘリカル CT であり、胸腹部骨盤の広範囲を 1 回の短時間息止めで CT 撮像できる。一般的な医療施設に多く導入されているタイプで、多列型ヘリカル CT の人気機種である。また、患者テーブルは長いタイプを導入し、外傷などの緊急 CT 検査で頭から足先まで 1 度に撮像できる緊急対応用となっている。得られた画像は専用のワークステーションで画像後処理を行い、MPR、骨 3D、肺血管 MIP/3D 構成などの画像再構成ができる。</p> <p>もう 1 台はシングルヘリカル CT であり、ヘリカル CT の基本構造・動作原理を学習する学生教育用である。</p>
【MRI 実習室 1 室】  • 超伝導型磁石アクティブシールド静磁場強度 1.5T (テスラ) MR 装置 • 画像再構成ワークステーション	<p>超伝導型磁石アクティブシールド静磁場強度 1.5T (テスラ) の高磁場 MRI 装置。本学の 1.5TMR 装置は頭部・頭頸部・体幹部・四肢・心臓などの部位も撮像できるように受信コイルを各種取りそろえ、撮像シークエンスに関しては最新のアプリケーションソフトを搭載している。得られた画像は専用のワークステーションで画像後処理を行い MRA・MRCP・MPR・3D 構成・心臓シネなどの画像再構成ができる。MRI 用呼吸センサーを備え、呼吸同期撮像も可能である。</p> <p>準備室にはポータブルタイプの金属探知機を備え、吸着事故の発生リスクに留意している。また日常の QC のための MR ファントムを各種取りそろえている。</p> <p>MR 専用の画像再構成ワークステーション 1 台。高機能の超伝導型 1.5T MRI から得られる多彩な画像データを、後処理する装置である。MRI の</p>

	<p>オリジナル画像データをもとに、MPR・MIP・3Dボリュームレンダリング・サーフェスレンダリング機能を用いて病変を際立たせるように画像を再構成して画像診断に利用する。また、融合画像の生成機能を有し、MRだけでなくCT・SPECT・PETなどの他の画像をPACS経由で読み込み、多種の画像を融合する、レイヤー・フェージョンが可能である。レジストレーションも剛性・非剛性が可能で、同種・異種の画像の重ね合わせができる。学生は画像撮像だけでなく画像後処理再構成の分野を学習する。</p>
<p>【核医学実習エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対向型2検出器SPECT装置</li> <li>・周辺機器</li> </ul> <p>汚染検査装置（ハンドフットクロスモニター2台、GM管式サーベイメーター4台、ホールボディカウンター1台）・線量測定装置（キュリーメーター3台、液体シンチレーター1台）・<math>\gamma</math>線エネルギー分析半導体装置1台・放射性同位元素実験用ドラフトチャンバー1セット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RI貯留槽・希釀槽</li> </ul>	<p>対向型2検出器型SPECT装置で、プラナー撮像・SPECT撮像のできる汎用機である。低エネルギー用コリメーターは高感度用と超高分解能用の2セットを装備。データ取得後の画像構成やカラー画像は操作コンソールのアプリケーションソフトを用いて処理する。</p> <p>隣接する準備室・汚染検査室・放射線化学実験室には汚染検査装置（ハンドフットクロスモニター2台、GM管式サーベイメーター4台、ホールボディカウンター1台）・線量測定装置（キュリーメーター3台、液体シンチレーター1台）・<math>\gamma</math>線エネルギー分析半導体装置1台・放射性同位元素実験用ドラフトチャンバー1セットを装備している。廃棄保管庫を備え、使用したRI容器やシリジなどを保管している。</p> <p>排液処理にはRI貯留槽・希釀槽を併設し、準備室の遠隔モニターで適切に管理している。</p>
<p>【超音波実習室2室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高機能超音波診断装置2台</li> <li>・ポータブルタイプ超音波診断装置2台</li> </ul>	<p>高機能超音波診断装置2台は汎用高機能タイプで、B/Mモード撮像を基本としドップラー計測や3D表示ができ、頸動脈IMT計測・プラーカ撮像、心臓tissue-harmonic imagingなど豊富なアプリケーションを搭載し、全身あらゆる部位の超音波撮像に対応する。使用するプローブは、コンベックスタイル・セクタータイプ・リニアタイプと多彩で、周波数も2.5MHz-15MHz対応で身体の浅</p>

	<p>いところから深部まで観察できる。</p> <p>ポータブルタイプ 2 台は可搬型で往診やベッドサイド用に使える簡易型である。超音波画像の特徴・簡便性について学習する。</p>
<p>【診療画像診断実習室 1 室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医用画像管理閲覧 PACS システム</li> </ul>	<p>PACS システム 1 セット。検像システム・データ保存システム・Viewer システムを組み込んでいる。医用画像データの標準的フォーマットの DICOM 規格で画像管理の出来る PACS システムで、一般撮影・CT・MR・SPECT 画像の保管を行い画像情報に関わる研究が可能。PACS に転送する前に検像端末で行う画像チェック（撮像部位、左右確認、画質チェックなど）は診療放射線技師の重要な業務である。医用画像の画質評価実験、画像読影実験、画像モニターの品質管理などに、学生が利用できる。</p> <p>また、コンピューター演習室には 100 台の診断用液晶モニターの PC を設置しており、受講生全員が同時に PACS を使った画像診断を学習できる。</p>
<p>【治療計画実習室 1 室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治療計画装置 2 台</li> </ul>	<p>放射線治療計画装置 2 台は最新の包括的タイプで、三次元原体照射、電子線・陽子線照射、および小線源治療の計画立案に対応しているだけでなく、IGRT・IMRT・VMAT などの高精度放射線治療までカバーする包括的高機能治療計画装置。CT 画像上で病変部を囲い病変の線量分布計算ができるだけでなく、PET 画像や MR 画像と融合させ精度の高い放射線治療計画の立案も学習できる。通常のフォワードプランニングだけでなく、インバースプランニングもでき最新の照射法である IMRT・VMAT にも対応している。</p>

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現職 (就任年月)
一	学長	タマキ ナガラ 玉木 長良 (令和5年4月)		医学博士		京都医療科学大学 学長 (令和5年4月～令和9年3月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

## 審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次） 医療科学部 放射線学科

（1）「学則の変更の趣旨等を記載した書類（本文）」p. 5 の「3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容」において、「専任教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、・・・施設・設備についても必要十分な整備を行なっている」と説明しているが、大学設置基準に規定しているのは専任教員ではなく基幹教員であるため、修正すること。（是正意見） …2 ページ

（2）教育課程、教育方法、履修指導方法及び S/T 比率について具体的かつ詳細な説明がないことから、必要基幹教員数以上の基幹教員を配置していることのみをもって、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されているとは判断できない。（是正意見） …3 ページ

（3）「各教室座席数一覧」が示されているものの、一部教室は変更後の定員 90 名以下の座席数の教室も見受けられるが、各教室を本学の教育課程上どのように使用するのか判然とせず、収容定員増加後の施設・設備が教育に支障なく適切に整備されているとは判断できない。（是正意見） …12 ページ

(1) 「学則の変更の趣旨等を記載した書類 (本文)」p.5 の「3. 学則変更 (収容定員変更) に伴う教育課程等の変更内容」において、「専任教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、施設・設備についても必要十分な整備を行なっている」と説明しているが、大学設置基準に規定しているのは専任教員ではなく基幹教員であるため、修正すること。

(対応)

「専任教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、施設・設備についても必要十分な整備を行なっている」の是正事項に該当する記述について、大学設置基準の規定に基づき、専任教員ではなく基幹教員に修正を行う。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (5 ページ)

新	旧
3.学則変更 (収容定員変更) に伴う教育課程等の変更内容  <u>基幹</u> 教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、教員組織を担保すると同時に、収容定員変更後も教育課程、教育方法等について同等以上となるように適切な組織運営を行っている。さらに、施設・設備についても必要十分な整備を行なっている。	3.学則変更 (収容定員変更) に伴う教育課程等の変更内容  <u>専任教員</u> 数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、施設・設備についても必要十分な整備を行なっている。今回の学則変更 (収容定員変更) に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、施設・設備等の変更は無い。

(2) 教育課程、教育方法、履修指導方法及びS/T比率について具体的かつ詳細な説明がないことから、必要基幹教員数以上の基幹教員を配置していることのみをもって、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されているとは判断できない。

(対応)

教育課程、教育方法、履修指導方法及びS/T比率について具体的かつ詳細な説明を行い、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されていることの説明を行う。

ア) 本学は、診療放射線技師学校養成所として、診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、適正な教育課程、教育方法、履修指導方法、教員配置を行っている。以降に具体的に説明を行う。

#### ①教育課程

##### 1) カリキュラム設計

本学のカリキュラムは診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、さらに教養教育等の科目を追加した形で設計されている。ディプロマポリシーにて要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、新入生が4年間で診療放射線技師として適切な学力、能力、素養を習得できるよう段階的な科目配置を行っている。今回の収容定員変更にともなうカリキュラム及び具体的な授業内容の変更は無い。

##### 2) 教員の質

本学の教員体制としては、担当科目の講義、演習、実験等について最も適するとともに経験豊かな教員を配置している。具体的には、医師、診療放射線技師、工学、数学、薬学、心理学、英語、国語等の専門教員を適切に配置している。医師系教員の配置数は4名であり、他学の診療放射線学科と比較しても特に在籍数が多い。解剖学を中心に放射線科医でもある教員が専門的な知識や実践的なスキルについて、わかりやすく丁寧な指導を行っている。診療放射線技師の教員は10名が配置されており、実務経験の豊かな教員が実際の臨床現場で役に立つ実践に即した指導を行っている。実務経験のある教員による講義は全講義単位数の77%を占める。今回の収容定員変更にともなう教員配置の変更は無い。

##### 3) 学習環境の整備

学習環境について、本学では大学病院と遜色のない医療機器を完備している。これらの最新機器を活用して、現場で役立つスキルが身につく、質の高い実験を行っている。X線CT装置、一般撮影装置、乳房X線装置など使用頻度の高い装置は複数台の設置を行い、出来るだけ学生が使用できる機会を増やしている。このことにより、卒業後に医療機関に就職した際にも、違和感なく職場に入っていける環境を整えている。さらに、毎年の予算には設備更新、医療機器

増強を組み込み計画的な学習環境整備を行っている。

学生のサポートについては、学生支援センターや各委員会が中心となり、入学前教育から始まり、基礎教育、キャリア支援、学生相談など学生の学習をサポートする体制が整備されている。専門の臨床心理士の配置などメンタル面でのサポートにも力を入れている。

今回の収容定員変更にともなう学習環境および環境整備方針の変更はなく、引き続き環境整備の強化に取り組んでいく。

#### 4) 継続的改善

本学では、内部質保証の取り組みとして 23 ある委員会単位での PDCA を行っており、教学、研究、大学運営について継続的な改善を図っている。PDCA のテーマは中期計画に連動した内容であり、自己点検委員会が取り纏めを行い、毎年、全体について教授会での確認を行っている。

教育課程における継続的改善は、教学マネージメント委員会、教務委員会を中心に定期的な評価とフィードバックを行い、継続的改善に取り組んでいる。

また、学生の意見や要望を反映し、教育内容や方法を適宜見直している。学生アンケートを毎年行っているが、2023 年度 4 年生卒業時のアンケート（回答数 79 名、回答率 100%）における「本学の授業に対する取り組みと満足度」に関する設問では、97.3% の学生から「授業に満足している」との回答を得ている。これらの取り組みにより、今後も継続的な改善を続けていく。

#### ②教育方法

##### 1) 教育方法の多様性

本学では、学生が主体的に学び取り組むような教育方法（グループワーク、ディスカッションなど）を導入している。また実践的学習として、実験、実習は特に力を入れている分野であり、少人数のグループ編成、多数の教員配置により、理論と実践を結びつける機会を提供している。さらに多様性を理解することにつながる国際交流に力を入れており、ベトナム、台湾での研修、相互交流等を行い、渡航費用については本学独自の奨学金による約半額の補助を行っている。これらの教育方法の多様性への取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

##### 2) 学外連携

本学は法人設立母体である島津製作所や本学卒業生の多くが在籍する京都、滋賀地区の医療機関などと連携して、現場での実践的な学びを提供している。島津製作所からは最先端の医療機器の開発技術者を非常勤講師として任用し最新の知識を吸収する機会となっている。また、島津製作所において医療機器製造現場の見学や、職場体験、医学研究者の講演会など、さまざまな体験が可能となっている。

医療機関との連携については、多くの卒業生が在籍する関西屈指の総合病院で臨床実習を実施している。提携医療機関における臨床実習指導者数は 156 名（2024 年度予定）であり、540 時間にわたり最先端の臨床技術を経験することが出来る。

海外の連携先としては、ベトナム有数のチョーライ病院やフエ医科大学と学術協定を結び、学術交流や現地医療機関での研修など、国際的な視野、日本の医療機関との違いの学びなど、多様性の理解につながる教育を行っている。台湾の元培医事科技大学は本学の卒業生が台

湾で設立した医療大学であり、学術協定を締結し長年にわたり交流を行っている。毎年、本学学生は台湾研修に参加しているが、本学と同じ診療放射線技術を学ぶ学生同士が活発な交流を行っている。このような学外連携の取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

### ③履修指導方法

学習成果の評価とフィードバックについては、多様な評価方法を取り入れている。定期テストだけでなく、普段の学習状況の把握と学習習慣定着のための小テスト、レポート、プレゼンテーション、実技試験なども行っている。特定の科目についてはグループワークも取り入れており、成果を上げている。これらの履修指導方法についてはシラバスに学習目標、成績評価の方法とともにアクティブラーニング要素として記載されている。履修指導方法について、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

### ④S/T 比率

本学の過去 5 年間の S/T 比率の実績は下記のとおりである。

前述の「2. 学則変更（収容定員変更）の必要性(2)収容定員変更の必要性 ②入学定員と入学者数の乖離」にて説明したとおり、本学の過去 8 年間の入学者数は 90 名前後で推移しており、今後はこの入学定員と入学者数の乖離を是正していくため、下記のとおり定員変更後の S/T 比率も従来と大きな差は生じないと考えている。なお、令和 7 年度から完成年度である令和 10 年度までの S/T 比率については、毎年度、定員の 90 名が入学するものとし、既に入学している学年については実際の在学生数をもとに算出した。

令和2年度から令和6年度のS/T比率実績および令和7年度から令和10年度のS/T比率予定

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16.7	16.3	16.6	17.2	17.0	16.9	16.5	16.3	16.4

朝日新聞・河合塾の共同調査「ひらく日本の大学」の 2023 年度調査によると私立大学保健系学部の S/T 比率は、最大値 35.9、中央値 17.5、最小値 5.4 であり、多くの私立大学において、概ね 15 から 20 の間に分布している。本学の S/T 比率は、他の私立大学保健系学部と比較しても遜色はなく、適切な範囲であると判断している。

S/T 比率を適正に保つためにも、収容定員超過に対する厳格化の方針に従い、収容定員変更後は実際の在籍学生数を収容定員に可能な限り近づける努力を行う。

なお、教員組織について、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

### ⑤少人数教育

本学は小規模単科大学であり、その特徴を生かした少人数教育を実施している。講義の中でも特に少人数により教育効果が見込まれるプログラミングや英語教育については、1 つの学年を 2 ～3 組のグループに分け、教員が複数回、同じ講義を行うことにより、個々の学生に対して手

厚い指導が行える体制を取っている。同様に実験科目については、学生を数人のグループに分けた上で指導を行い、複数の教員を同時に配置することにより、教育効果を高めている。成績不振学生についての指導は個々の学生の状況を把握した上で、科目ごとに補習授業を行うとともに、4年生の総合演習授業において、一定の成績に至らない学生については、特別補講を行っている。

#### ⑥臨床実習体制の強化

臨床実習は、京都および滋賀地域の代表的な総合病院を網羅して、540時間にわたり実践に即した指導を行っている。2023年度までは14病院で臨床実習を行っていたが、さらに複数病院での実習を可能とした実習体制を強化すべく、2024年度から16病院において臨床実習を実施する予定である。複数の実習先を経験し、視野や就職先の選択肢を広げる施策に、今後も継続して取り組んでいく。

以上の①～⑥に示したとおり、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されていると判断している。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (5ページ)

新	旧
<p>ア) 本学は、診療放射線技師学校養成所として、診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、適正な教育課程、教育方法、履修指導方法、教員配置を行っている。以降に具体的に説明を行う。</p> <p>①教育課程</p> <p>1) カリキュラム設計</p> <p>本学のカリキュラムは診療放射線技師学校養成所指定規則及び診療放射線技師養成所指導ガイドラインに基づき、さらに教養教育等の科目を追加した形で設計されている。ディプロマポリシーにて要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、新入生が4年間で診療放射線技師として適切な学力、能力、素養を習得できるように段階的な科目配置を行っている。今回の収容定員変更にともなうカリキュラム及び具体的な授業内容の変更は無い。</p> <p>2) 教員の質</p>	<p><b>3. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容</b></p> <p>専任教員数は大学設置基準上の教員を超える配置となっており、下記に示すように施設・設備についても必要十分な整備を行なっている。今回の学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法等の変更は無い。</p>

本学の教員体制としては、担当科目の講義、演習、実験等について最も適するとともに経験豊かな教員を配置している。具体的には、医師、診療放射線技師、工学、数学、薬学、心理学、英語、国語等の専門教員を適切に配置している。医師系教員の配置数は4名であり、他学の診療放射線学科と比較しても特に在籍数が多い。解剖学を中心に放射線科医でもある教員が専門的な知識や実践的なスキルについて、わかりやすく丁寧な指導を行っている。診療放射線技師の教員は10名が配置されており、実務経験の豊かな教員が実際の臨床現場で役に立つ実践に即した指導を行っている。実務経験のある教員による講義は全講義単位数の77%を占める。今回の収容定員変更にともなう教員配置の変更は無い。

### 3) 学習環境の整備

学習環境について、本学では大学病院と遜色のない医療機器を完備している。これらの最新機器を活用して、現場で役立つスキルが身につく、質の高い実験を行っている。X線CT装置、一般撮影装置、乳房X線装置など使用頻度の高い装置は複数台の設置を行い、出来るだけ学生が使用できる機会を増やしている。このことにより、卒業後に医療機関に就職した際にも、違和感なく職場に入っていける環境を整えている。さらに、毎年の予算には設備更新、医療機器増強を組み込み計画的な学習環境整備を行っている。

学生のサポートについては、学生支援センターや各委員会が中心となり、入学前教育から始まり、基礎教育、キャリア支援、学生相談など学生の学習をサポートする体制が整備されている。専門の臨床心理士の配置などメンタル面でのサポートにも力を入れている。

今回の収容定員変更にともなう学習環境および環境整備方針の変更はなく、引き続き環境整備の強化に取り組んでいく。

#### 4) 継続的改善

本学では、内部質保証の取り組みとして23ある委員会単位でのPDCAを行っており、教学、研究、大学運営について継続的な改善を図っている。PDCAのテーマは中期計画に連動した内容であり、自己点検委員会が取り纏めを行い、毎年、全体について教授会での確認を行っている。

教育課程における継続的改善は、教学マネジメント委員会、教務委員会を中心に定期的な評価とフィードバックを行い、継続的改善に取り組んでいる。

また、学生の意見や要望を反映し、教育内容や方法を適宜見直している。学生アンケートを毎年行っているが、2023年度4年生卒業時のアンケート（回答数79名、回答率100%）における「本学の授業に対する取り組みと満足度」に関する設問では、97.3%の学生から「授業に満足している」との回答を得ている。これらの取り組みにより、今後も継続的な改善を続けていく。

#### ②教育方法

##### 1) 教育方法の多様性

本学では、学生が主体的に学び取り組むような教育方法（グループワーク、ディスカッションなど）を導入している。また実践的学習として、実験、実習は特に力を入れている分野であり、少人数のグループ編成、多数の教員配置により、理論と実践を結びつける機会を提供している。さらに多様性を理解することにつながる国際交流に力を入れており、ベトナム、台湾での研修、相互交流等を行い、渡航費用については本学独自の奨学金による約半額の補助を行っている。これらの教育方法の多様性への取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

##### 2) 学外連携

本学は法人設立母体である島津製作所や本学

卒業生の多くが在籍する京都、滋賀地区の医療機関などと連携して、現場での実践的な学びを提供している。島津製作所からは最先端の医療機器の開発技術者を非常勤講師として任用し最新の知識を吸収する機会となっている。また、島津製作所において医療機器製造現場の見学や、職場体験、医学研究者の講演会など、さまざまな体験が可能となっている。

医療機関との連携については、多くの卒業生が在籍する関西屈指の総合病院で臨床実習を実施している。提携医療機関における臨床実習指導者数は156名（2024年度予定）であり、540時間にわたり最先端の臨床技術を経験することが出来る。

海外の連携先としては、ベトナム有数のチョーライ病院やフエ医科大学と学術協定を結び、学術交流や現地医療機関での研修など、国際的な視野、日本の医療機関との違いの学びなど、多様性の理解につながる教育を行っている。台湾の元培医事科技大学は本学の卒業生が台湾で設立した医療大学であり、学術協定を締結し長年にわたり交流を行っている。毎年、本学学生は台湾研修に参加しているが、本学と同じ診療放射線技術を学ぶ学生同士が活発な交流を行っている。このような学外連携の取り組みについて、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

### ③履修指導方法

学習成果の評価とフィードバックについては、多様な評価方法を取り入れている。定期テストだけでなく、普段の学習状況の把握と学習習慣定着のための小テスト、レポート、プレゼンテーション、実技試験なども行っている。特定の科目についてはグループワークも取り入れており、成果を上げている。これらの履修指導方法についてはシラバスに学習目標、成績評価の方法とともにアクティブラーニング要素として記載されている。履修指導方法について、今

回の収容定員変更にともなう変更はない。

#### ④S/T比率

本学の過去5年間のS/T比率の実績は下記のとおりである。

前述の「2. 学則変更（収容定員変更）の必要性（2）収容定員変更の必要性 ②入学定員と入学者数の乖離」にて説明したとおり、本学の過去8年間の入学者数は90名前後で推移しており、今後はこの入学定員と入学者数の乖離を是正していくため、下記のとおり定員変更後のS/T比率も従来と大きな差は生じないと考えている。なお、令和7年度から完成年度である令和10年度までのS/T比率については、毎年度、定員の90名が入学するものとし、既に入学している学年については実際の在学生数をもとに算出した。

令和2年度から令和6年度のS/T比率実績および令和7年度から令和10年度のS/T比率予定

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16.7	16.3	16.6	17.2	17.0	16.9	16.5	16.3	16.4

朝日新聞・河合塾の共同調査「ひらく日本の大学」の2023年度調査によると私立大学保健系学部のS/T比率は、最大値35.9、中央値17.5、最小値5.4であり、多くの私立大学において、概ね15から20の間に分布している。本学のS/T比率は、他の私立大学保健系学部と比較しても遜色なく、適切な範囲であると判断している。

S/T比率を適正に保つためにも、収容定員超過に対する厳格化の方針に従い、収容定員変更後は実際の在籍学生数を収容定員に可能な限り近づける努力を行う。

なお、教員組織について、今回の収容定員変更にともなう変更はない。

#### ⑤少人数教育

本学は小規模単科大学であり、その特徴を生かした少人数教育を実施している。講義の中で

も特に少人数により教育効果が見込まれるプログラミングや英語教育については、1つの学年を2~3組のグループに分け、教員が複数回、同じ講義を行うことにより、個々の学生に対して手厚い指導が行える体制を取っている。同様に実験科目については、学生を数人のグループに分けた上で指導を行い、複数の教員を同時に配置することにより、教育効果を高めている。成績不振学生についての指導は個々の学生の状況を把握した上で、科目ごとに補習授業を行うとともに、4年生の総合演習授業において、一定の成績に至らない学生については、特別補講を行っている。

#### ⑥臨床実習体制の強化

臨床実習は、京都および滋賀地域の代表的な総合病院を網羅して、540時間にわたり実践に即した指導を行っている。2023年度までは14病院で臨床実習を行っていたが、さらに複数病院での実習を可能とした実習体制を強化すべく、2024年度から16病院において臨床実習を実施する予定である。複数の実習先を経験し、視野や就職先の選択肢を広げる施策に、今後も継続して取り組んでいく。

以上の①~⑥に示したとおり、収容定員増加後の教育や教員組織が変更前と比較して同等以上であることが適切に担保されていると判断している。

(3) 「各教室座席数一覧」が示されているものの、一部教室は変更後の定員 90 名以下の席数の教室も見受けられるが、各教室を本学の教育課程上どのように使用するのか判然とせず、収容定員増加後の施設・設備が教育に支障なく適切に整備されているとは判断できない。

(対応)

各教室を本学の教育課程の内容に応じて、どのように使用するのか、具体的に説明を行い、さらに実際の時間割において、それぞれの講義、実験等で使用される教室の座席数と履修者数を記入した資料により、収容定員増加後の施設・設備が教育に支障なく適切に整備されていることを説明する。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (5 ページ)

新	旧																																																								
<p>イ) 施設・設備について</p> <p>本学では、1年生から4年生が同時限に平行して講義を受講できるように全座席数110名以上の教室が4室配置されている。従って、定員90名に対する全員授業・試験について必要十分な施設・設備が設置されている。一方で、前述のとおり、本学では少人数教育に力を入れており、プログラミングや英語教育は1つの学年を2~3組のグループに分け、教員が複数回、同じ講義を行うことにより教育効果の向上を図っている。これらの講義に使用する教室は、少人数授業用として、全座席数が35名から63名の教室を7室配置している。1組あたりの学生数は通常、30名以下となるので、少人数教育のついても、必要十分な施設・設備が確保されている。</p> <p>講義が支障なく可能なことを具体的に示すために、実際の授業時間割に利用教室と受講学生数を記載した資料を資料1(2024年度前期時間割) 資料2(履修者数集計表)として示す。以上のことから、収容定員増加後の施設・設備が教育に支障なく適切に整備されていると判断している。</p>	<p>3. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="text-align: center;"><b>各教室座席数一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教室</th> <th>全座席数</th> <th>用途</th> <th>座席配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A501</td> <td>120</td> <td>全員授業・試験</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>C305</td> <td>128</td> <td>全員授業・試験</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>C303</td> <td>117</td> <td>全員授業・試験</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>A302</td> <td>110</td> <td>全員授業</td> <td>2列席</td> </tr> <tr> <td>A304</td> <td>110</td> <td>全員授業</td> <td>2列席</td> </tr> <tr> <td>C202 (ラボ・実験室)</td> <td>110</td> <td>全員授業</td> <td>固定</td> </tr> <tr> <td>A401</td> <td>63</td> <td>少人数授業</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>A402</td> <td>53</td> <td>少人数授業</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>B308</td> <td>53</td> <td>少人数授業</td> <td>2列席</td> </tr> <tr> <td>B309</td> <td>53</td> <td>少人数授業</td> <td>2列席</td> </tr> <tr> <td>A301 (MM教室)</td> <td>52</td> <td>少人数授業</td> <td>固定</td> </tr> <tr> <td>A403</td> <td>50</td> <td>少人数授業</td> <td>1列席</td> </tr> <tr> <td>C301 (セミナー室)</td> <td>35</td> <td>少人数授業</td> <td>1列席</td> </tr> </tbody> </table>	教室	全座席数	用途	座席配置	A501	120	全員授業・試験	1列席	C305	128	全員授業・試験	1列席	C303	117	全員授業・試験	1列席	A302	110	全員授業	2列席	A304	110	全員授業	2列席	C202 (ラボ・実験室)	110	全員授業	固定	A401	63	少人数授業	1列席	A402	53	少人数授業	1列席	B308	53	少人数授業	2列席	B309	53	少人数授業	2列席	A301 (MM教室)	52	少人数授業	固定	A403	50	少人数授業	1列席	C301 (セミナー室)	35	少人数授業	1列席
教室	全座席数	用途	座席配置																																																						
A501	120	全員授業・試験	1列席																																																						
C305	128	全員授業・試験	1列席																																																						
C303	117	全員授業・試験	1列席																																																						
A302	110	全員授業	2列席																																																						
A304	110	全員授業	2列席																																																						
C202 (ラボ・実験室)	110	全員授業	固定																																																						
A401	63	少人数授業	1列席																																																						
A402	53	少人数授業	1列席																																																						
B308	53	少人数授業	2列席																																																						
B309	53	少人数授業	2列席																																																						
A301 (MM教室)	52	少人数授業	固定																																																						
A403	50	少人数授業	1列席																																																						
C301 (セミナー室)	35	少人数授業	1列席																																																						

各教室座席数一覧

教室	全座席数	用途	座席配置
A501	120	全員授業・試験	1列席
C305	128	全員授業・試験	1列席
C303	117	全員授業・試験	1列席
A302	110	全員授業	2列席
A304	110	全員授業	2列席
C202 (コラボ演習室)	110	全員授業	固定
A401	63	小人数授業	1列席
A402	53	小人数授業	1列席
B308	53	小人数授業	2列席
B309	53	小人数授業	2列席
A301 (MM教室)	52	小人数授業	固定
A403	50	小人数授業	1列席
C301 (セミナー室)	35	小人数授業	1列席